

地域工務店における 木材利用実態調査報告書

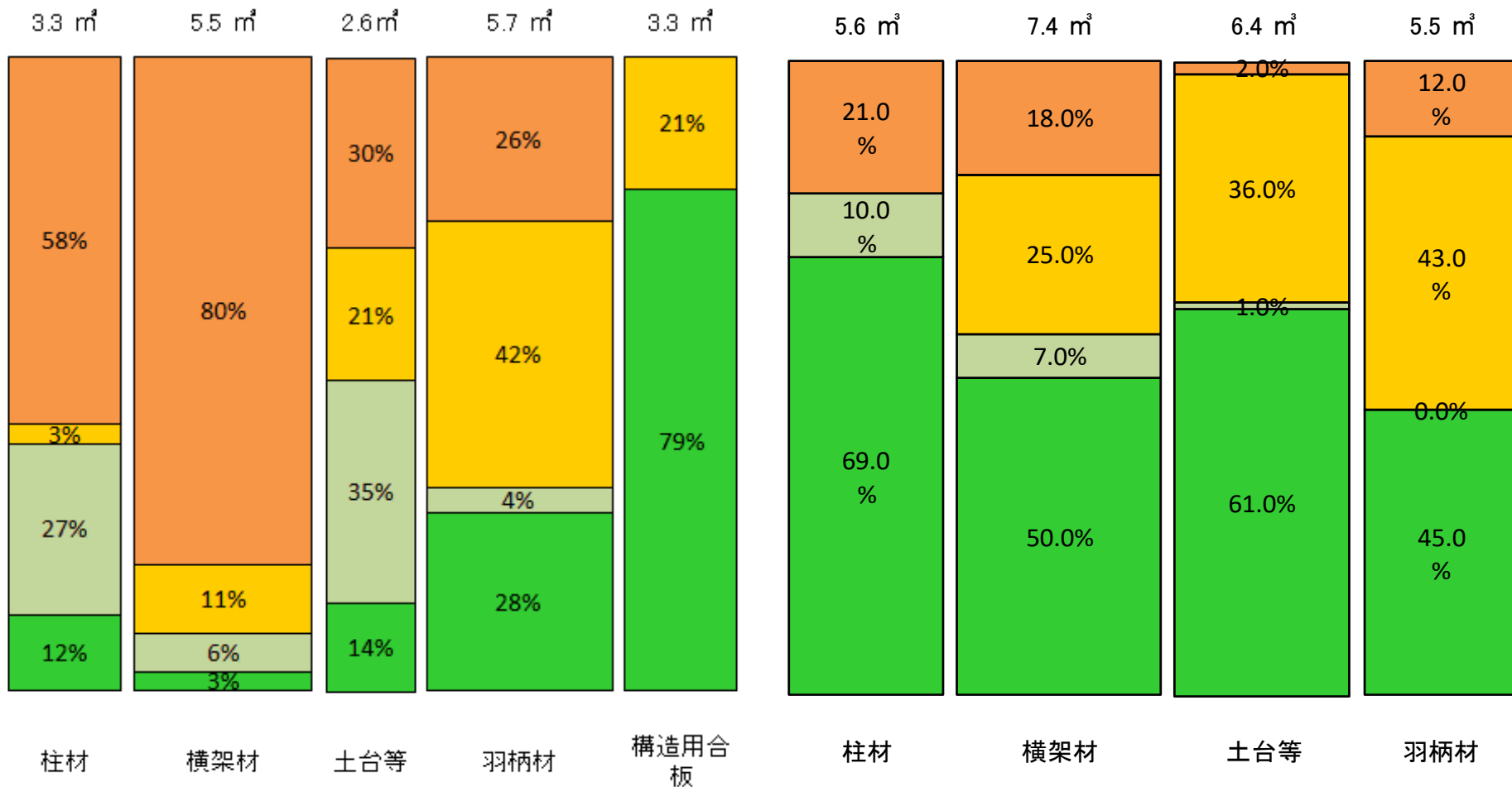
一般社団法人JBN・全国工務店協会

日本木材青壮年団体連合会

一般社団法人日本林業経営者協会 青年部

図1 供給する標準的な木造住宅の木材使用状況について(以前の調査)

■ 輸入集成材等 ■ 輸入製材・合板 ■ 国産集成材等 ■ 国産材製材・合板



木造軸組構法における木材使用割合(2013)
一般社団法人 日本木造住宅産業協会

「木造住宅における木材の使用状況に関する調査」
2017・2018年調査

1.会社全体の供給住宅について(戸建て住宅について)

1-1. アンケート回収数

表 1 アンケート回収数

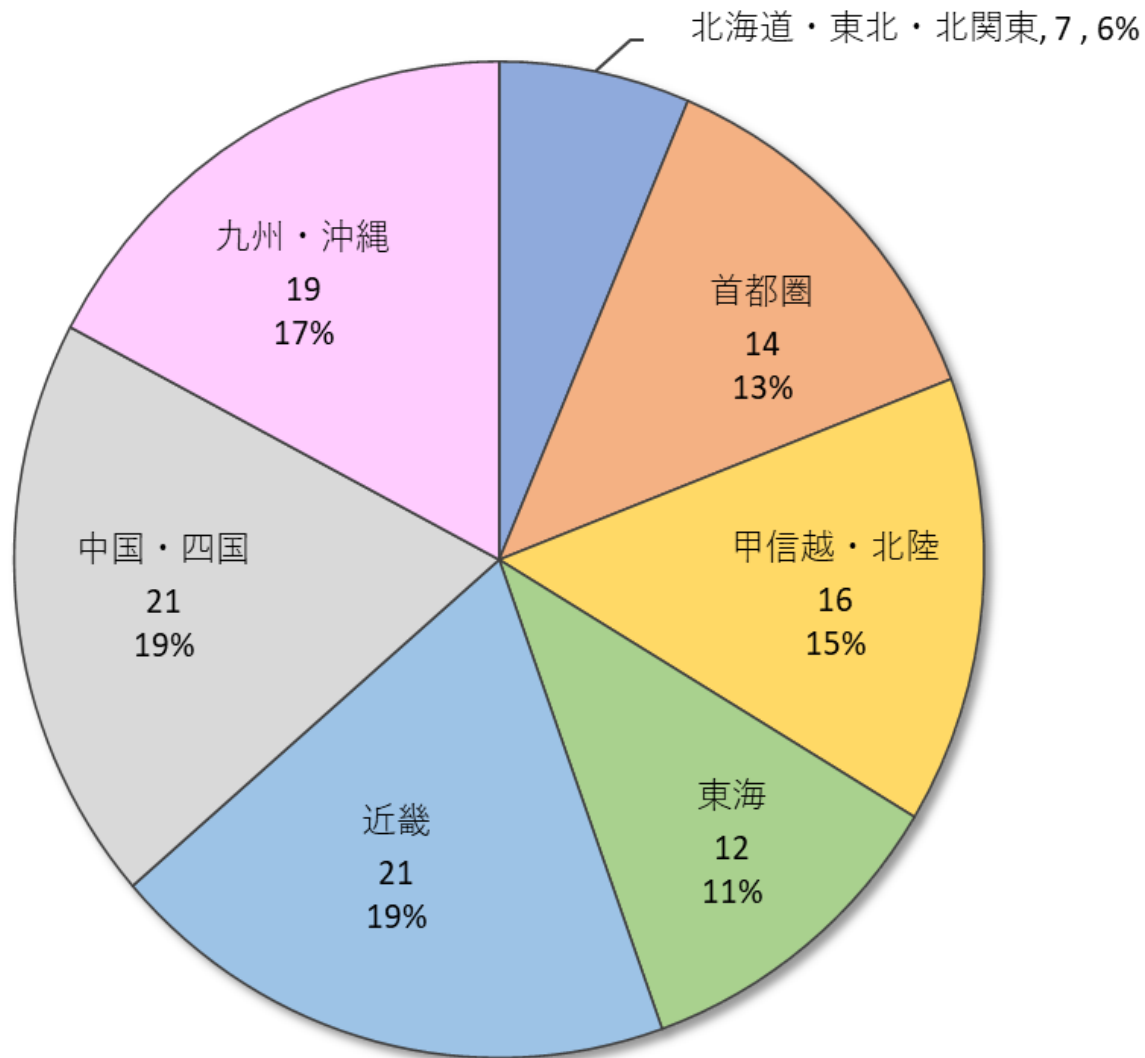
① 配布総数	2,713
② 全回収数	110
③ 回収数のうち年間供給住宅数「ゼロ」の事業者	12
④ アンケートの基本的な集計対象会社数 (②－③)	98
回収率 (②/①)	4.1%

表 2 アンケート回収数

圏域別	事業者数 (社)	供給戸数 (戸)	平均規模 (戸/社)
北海道・東北・北関東	7	190	27.1
首都圏	14	218	15.6
甲信越・北陸	16	119	7.4
東海	12	108	9.0
近畿	21	503	24.0
中国・四国	21	220	10.5
九州・沖縄	19	263	13.8
合計	110	1,621	14.7

1-1. アンケート回収数

図2 アンケート回答事業者の地方別区分



アンケート調査結果 P4

1-1. アンケート回収数

表 3 都道府県別アンケート発送数・回収数

NO	都道府県	発送数	回答数	回答率	NO	都道府県	発送数	回答数	回答率	NO	都道府県	発送数	回答数	回答率
1	北海道	28	1	4%	17	石川県	9	1	11%	33	岡山県	46	3	7%
2	青森県	70	0	0%	18	福井県	27	1	4%	34	広島県	60	3	5%
3	岩手県	22	1	5%	19	山梨県	68	3	4%	35	山口県	33	2	6%
4	宮城県	23	1	4%	20	長野県	139	7	5%	36	徳島県	38	0	0%
5	秋田県	18	0	0%	21	岐阜県	146	4	3%	37	香川県	41	3	7%
6	山形県	32	1	3%	22	静岡県	180	4	2%	38	愛媛県	120	8	7%
7	福島県	51	1	2%	23	愛知県	93	2	2%	39	高知県	45	0	0%
8	茨城県	48	1	2%	24	三重県	21	2	10%	40	福岡県	162	7	4%
9	栃木県	16	1	6%	25	滋賀県	101	5	5%	41	佐賀県	40	2	5%
10	群馬県	20	0	0%	26	京都府	61	5	8%	42	長崎県	79	1	1%
11	埼玉県	74	3	4%	27	大阪府	90	6	7%	43	熊本県	94	2	2%
12	千葉県	68	2	3%	28	兵庫県	96	5	5%	44	大分県	27	0	0%
13	東京都	81	3	4%	29	奈良県	12	0	0%	45	宮崎県	47	4	9%
14	神奈川県	108	6	6%	30	和歌山県	11	0	0%	46	鹿児島県	43	3	7%
15	新潟県	30	2	7%	31	鳥取県	7	0	0%	47	沖縄県	6	0	0%
16	富山県	48	2	4%	32	島根県	34	3	9%		合計	2713	110	4%

アンケート調査結果 P5

1-2. 年間供給住宅数

表 4 階層別・年間供給住宅数(単位:社、戸、%)

	1～4戸	5戸～14戸	15～49戸	50～99戸	100戸超	合計
年間供給住宅数 (社)	32	39	23	1	3	98
会社数割合 (%)	32.7%	39.8%	23.5%	1.0%	3.1%	100.0%
供給住宅数計 (戸)	80	321	622	58	540	1,621
供給住宅数割合 (%)	4.9%	19.8%	38.4%	3.6%	33.3%	100.0%

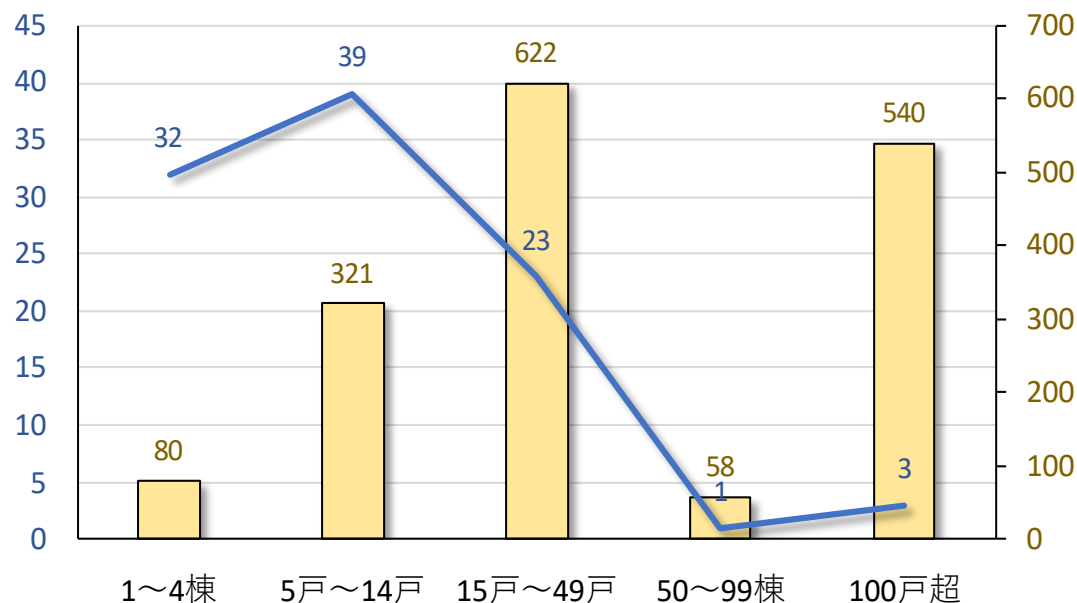
有効回答数:98

事業者数 (社)

図 3 階層別・年間供給住宅数

供給住宅数

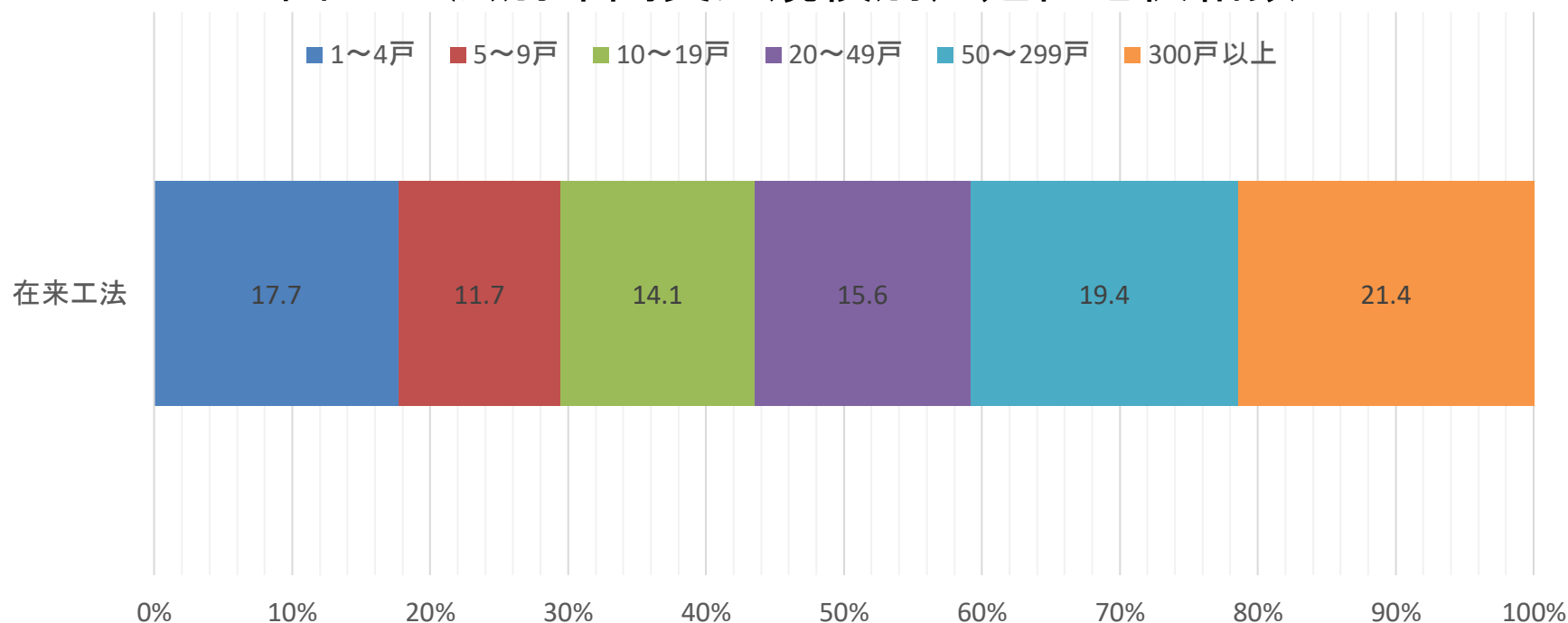
(戸)



供給住宅数計 (戸) 年間供給住宅数 (社)

在来工法(戸建)では50棟／年未満の工務店等で59.1%シェア6割弱を占める

図4 工法別年間受注規模別戸建住宅供給数



出典:国土交通省ホームページ「木造住宅の担い手の現状」

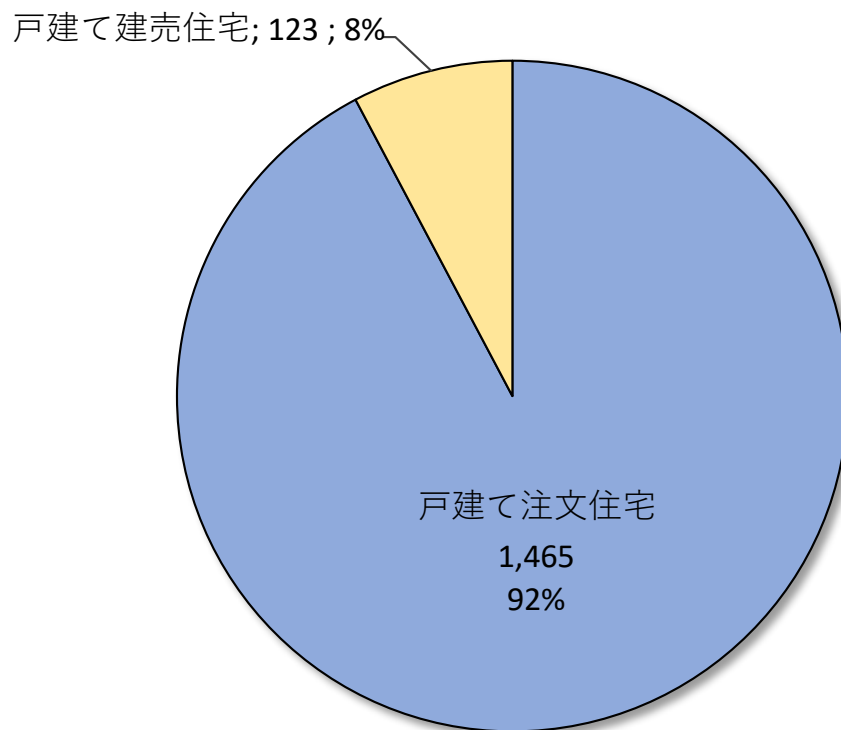
1-4. 住宅の注文形態別・階層別年間供給住宅階層別戸数

表 5 住宅の注文形態別・年間供給住宅階層別戸数割合(単位:戸数)

	1～4戸	5～14戸	15～49戸	50～99戸	100戸超	合計
戸建て注文住宅	72	309	550	58	476	1,465
戸建て建売住宅	3	7	49	0	64	123

有効回答数:94

図 5 住宅の注文形態別 供給戸数・割合



1-5. 貴社が手がける住宅の建築工法

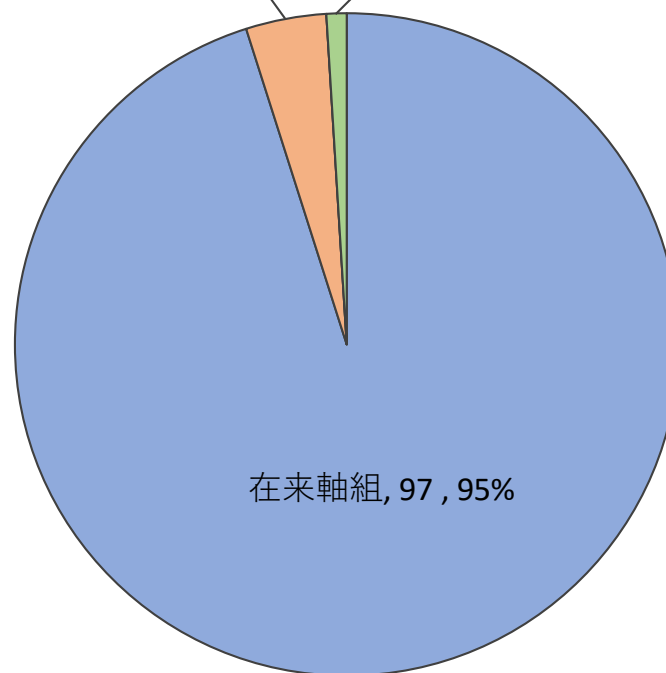
表 6 住宅の建築工法(複数回答あり)(単位:社)

	1～4戸	5～14戸	15～49戸	50～99戸	100戸超	合計
在来軸組	31	39	23	1	3	97
2×4工法	0	1	1	0	1	3
プレハブ	0	0	0	0	0	0
その他	0	1	0	0	1	2
合計	31	41	24	1	5	102

有効回答数:102

図 6 住宅の建築工法

2×4工法, 4, 4% その他, 1, 1%



2.供給住宅の概要について

2-1. 住宅あたりの平均延床面積

表 7 1住宅あたりの平均延床面積(単位:社。平米)

項目	社	m ²
0戸、供給戸数未記入	5	126.0
1戸～4戸	32	113.9
5戸～14戸	38	118.6
15戸～49戸	23	109.8
50戸～99戸	1	105.7
100戸超	4	117.8
平均延べ床面積	103	115.4

※ 平均単価は、単純平均を用いている

有効回答数:103

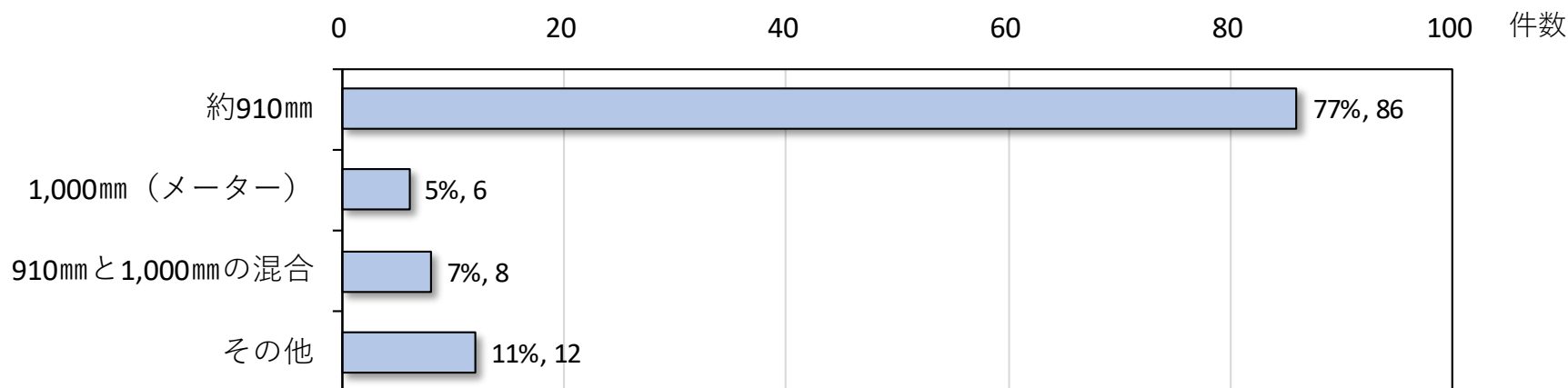
2-2. 基準寸法(モジュール)

表 8 基準寸法／モジュール(複数回答あり)(単位:件数、%)

項目	件数	割合
約910mm	86	77%
1,000mm (メートル)	6	5%
910mmと1,000mmの混合	8	7%
その他	12	11%
合計	112	100%

有効回答数:94

図 7 基準寸法／モジュール



集計注 その他回答13のうち基準が記入されていたもの:900mm 1件、950mm 2件、955mm 2件、985mm 2件、不定 1件

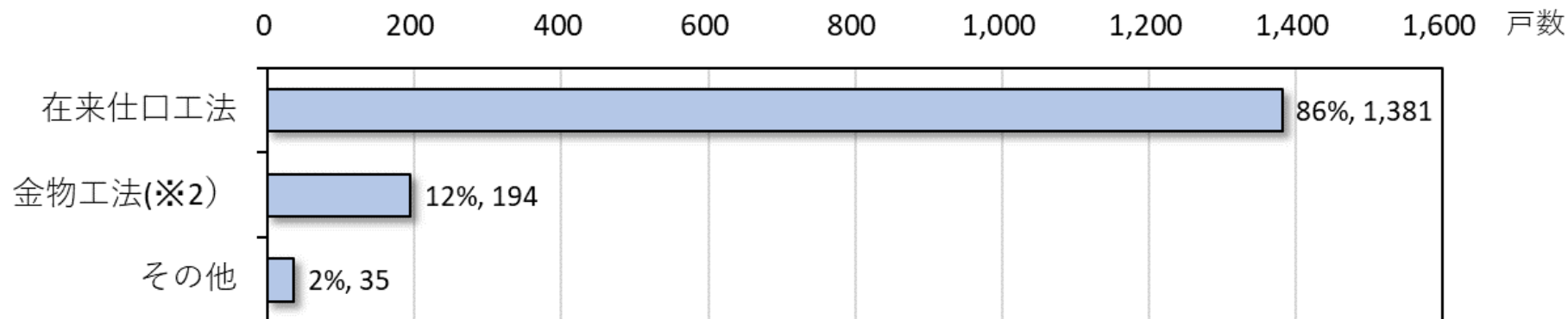
2-3. 工法(接合部)

表 9 工法・接合部(複数回答あり)(単位:戸数、%)

項目	戸数	割合
在来仕口工法	1,381	86%
金物工法(※2)	194	12%
その他	35	2%
合計	1,610	100%

有効回答数:95

図 8 工法・接合部



アンケート注 ※2 金物工法は仕口部を金物で接合する。工法では、「テックワン」「SSマルチ」などがある。
 なお、部分的な補強として金物を使用するものは含まない。

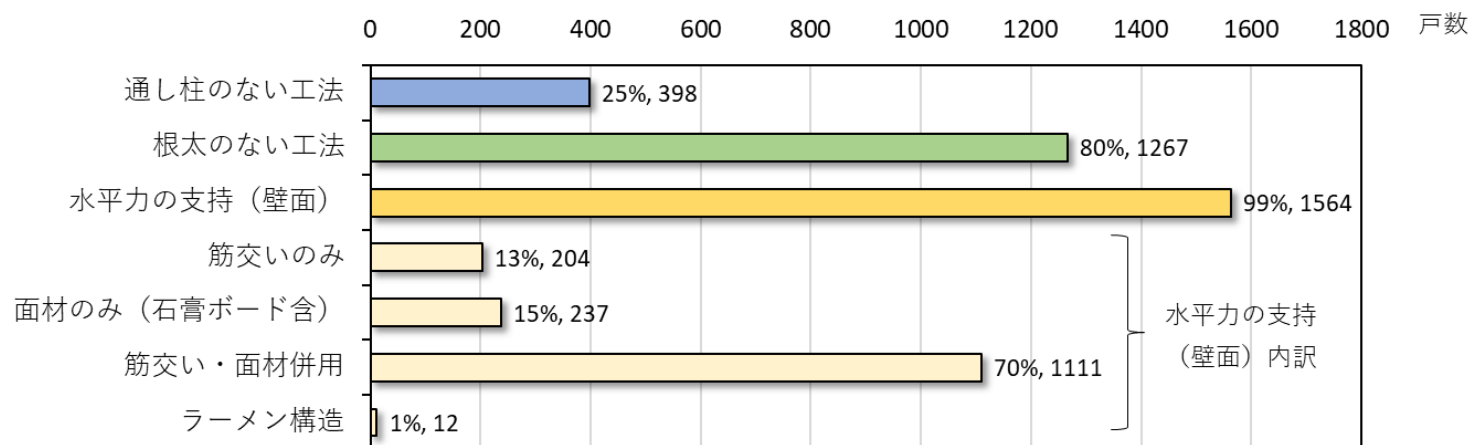
2-4. 工法(その他)

表 10 工法・その他(複数回答あり)(単位:戸数、%)

項目	戸数	割合
通し柱のない工法	398	25%
根太のない工法	1267	80%
水平力の支持(壁面)	1564	99%
筋交いのみ	204	13%
面材のみ(石膏ボード含)	237	15%
筋交い・面材併用	1111	70%
ラーメン構造	12	1%
有効回答数97社の年間住宅供給	1579	100%

有効回答数:97

図 9 工法・その他



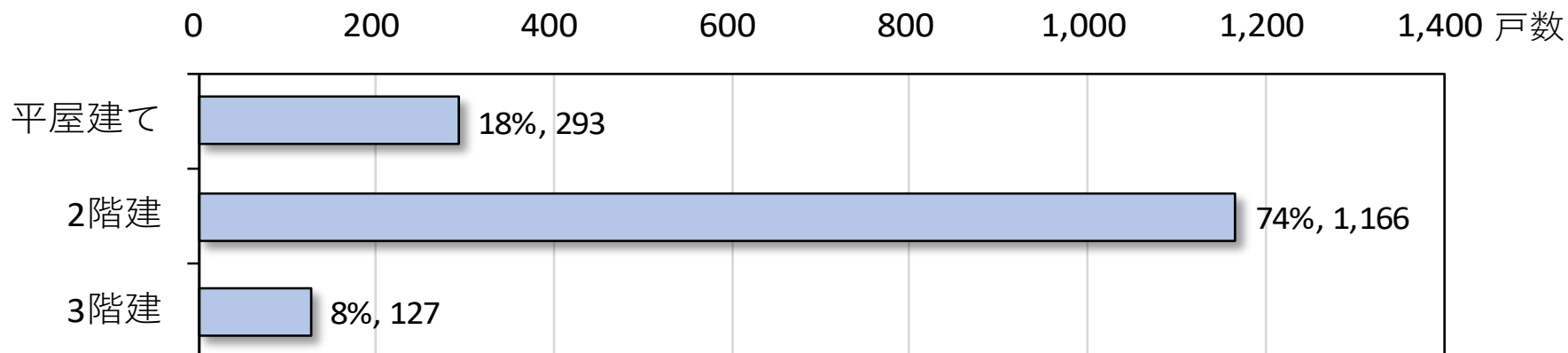
2-5. 建物の階数

表 11 建物の階数(単位:戸数、%)

項目	戸数	割合
平屋建て	293	18%
2階建	1,166	74%
3階建	127	8%
有効回答数96社の年間住宅供給	1,586	100%

有効回答数:96

図 10 建物の階数



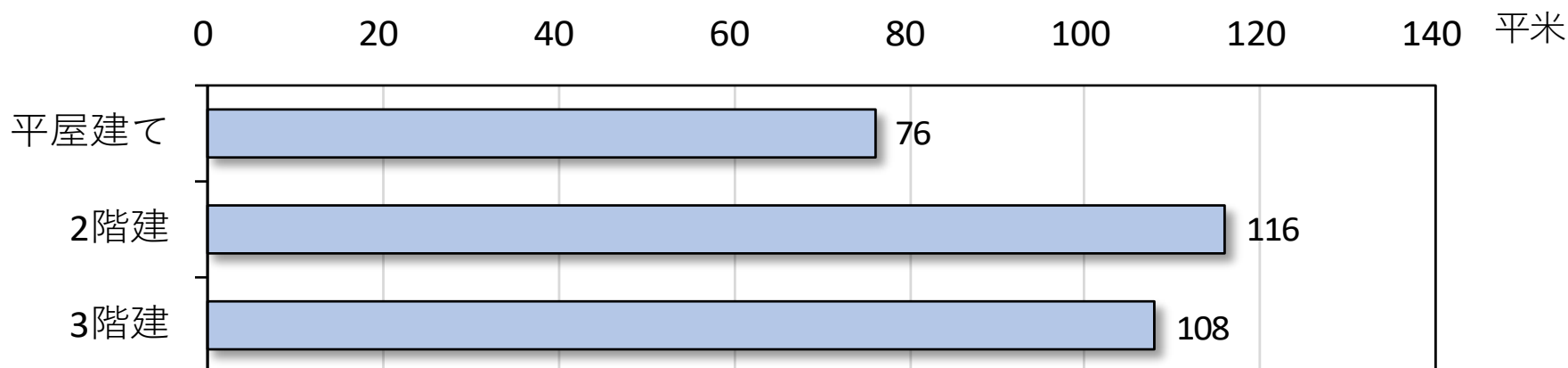
2-6. 建物の平均延床面積

表 12 建物の平均延べ床面積(単位:平米)

項目	面積
平屋建て	76
2階建	116
3階建	108

有効回答数:102

図 11 建物の平均延べ床面積



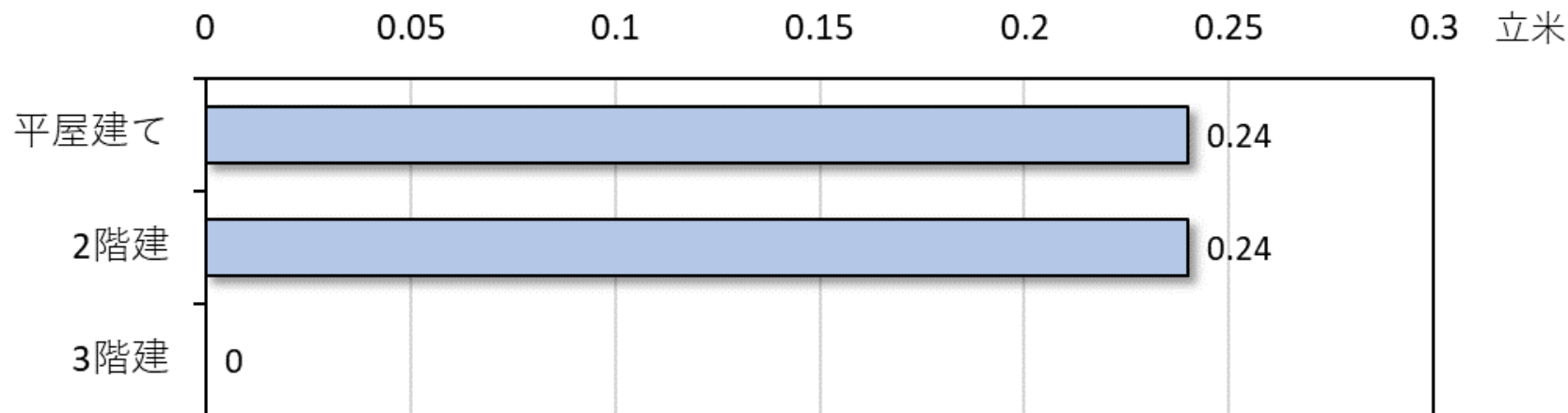
2-7. 建物の延床面積あたりの木材使用量

表 13 建物の延床単位面積あたりの木材使用量(単位:立米)

項目	立米/m ²
平屋建て	0.24
2階建	0.24
3階建	—

有効回答数:17

図 12 建物の延床単位面積あたりの木材使用量



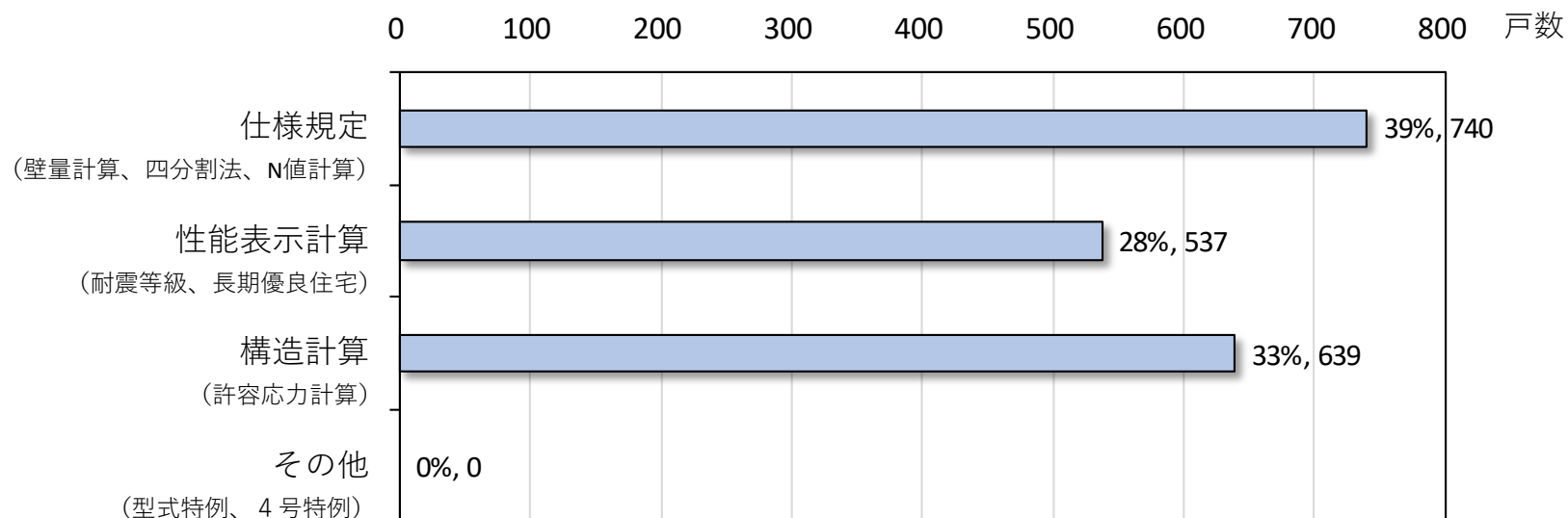
2-8. 構造計算方法

表 14 構造計算方法(複数回答あり)(単位:戸数、%)

項目		戸数	割合
仕様規定	(壁量計算、四分割法、N値計算)	740	39%
性能表示	(耐震等級、長期優良住宅)	537	28%
構造計算	(許容応力計算)	639	33%
その他	(型式特例、4号特例)	0	0%
合計		1,916	100%

有効回答数:96

図 13 構造計算方法



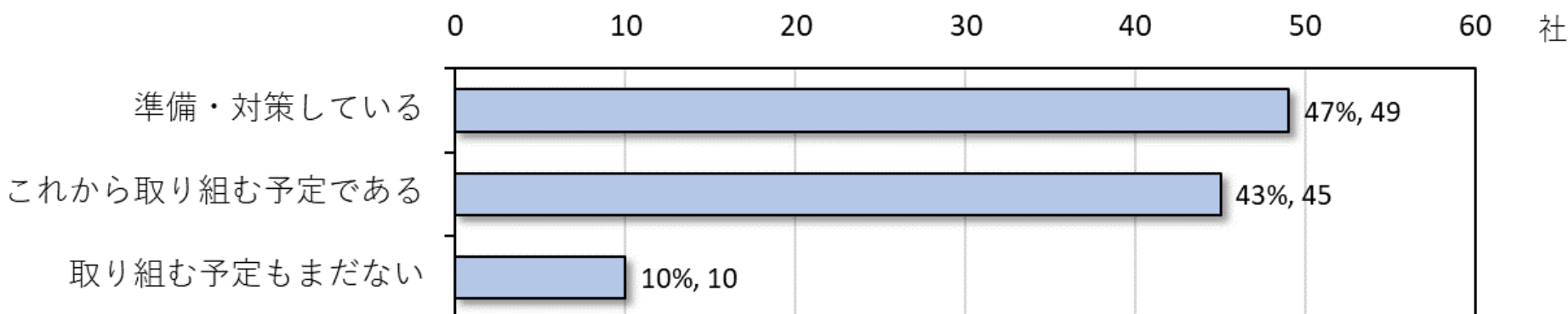
2-9. 2025年4号特例縮小に際しての準備・対策

表 15 2025年までに4号特例が縮小されますが、準備・対策はされていますか？
(単位:社、%)

項目	社	割合
準備・対策している	49	47%
これから取り組む予定である	45	43%
取り組む予定もまだない	10	10%
合計	104	100%

有効回答数:104

図 14 4号特例が縮小につき、準備・対策



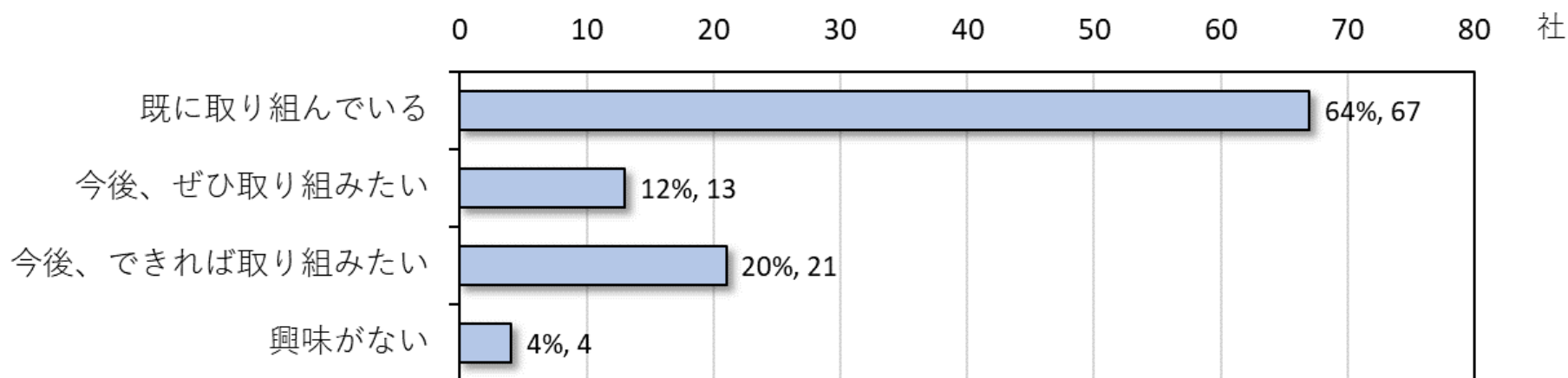
2-11. 森林所有者、製材工場、設計士などと連携した取組

表 16 森林所有者、製材工場、設計士などと連携して国産材による家づくりへの取組を行っていますか？（単位：社、％）

項目	社	割合
既に取り組んでいる	67	64%
今後、ぜひ取り組みたい	13	12%
今後、できれば取り組みたい	21	20%
興味がない	4	4%
合計	105	100%

有効回答数：105

図 15 森林所有者、製材工場、設計士などと連携した取組



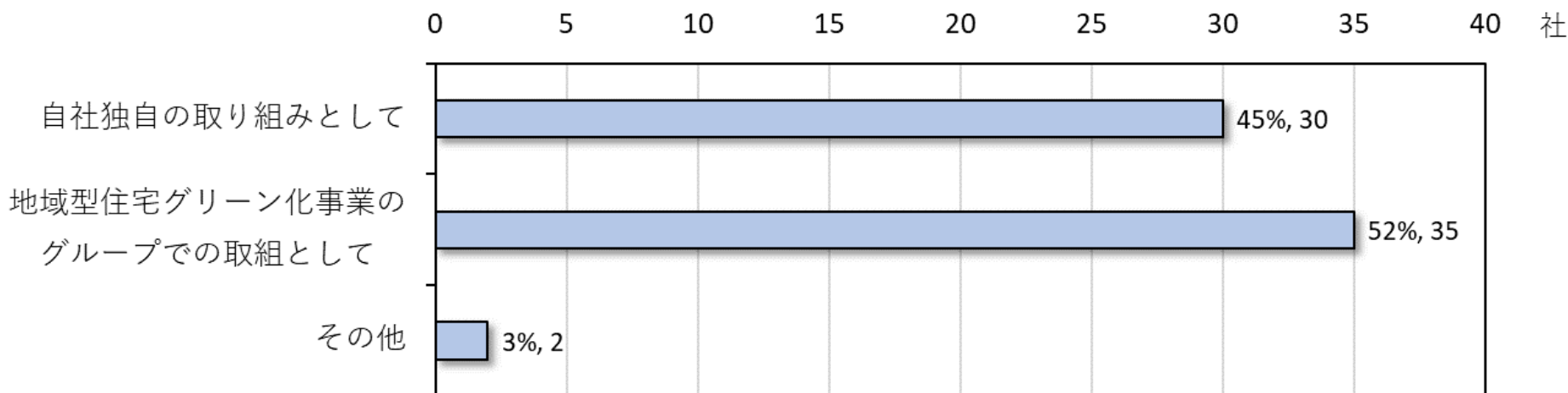
2-11. 森林所有者、製材工場、設計士などと連携した取組

表 17 上記設問のうち「既に取り組んでいる」の内訳(単位:社、割合)

項目	社	割合
自社独自の取り組みとして	30	45%
地域型住宅グリーン化事業の グループでの取組として	35	52%
その他	2	3%
合計	67	100%

有効回答数:67

図 16 「既に取り組んでいる」の内訳



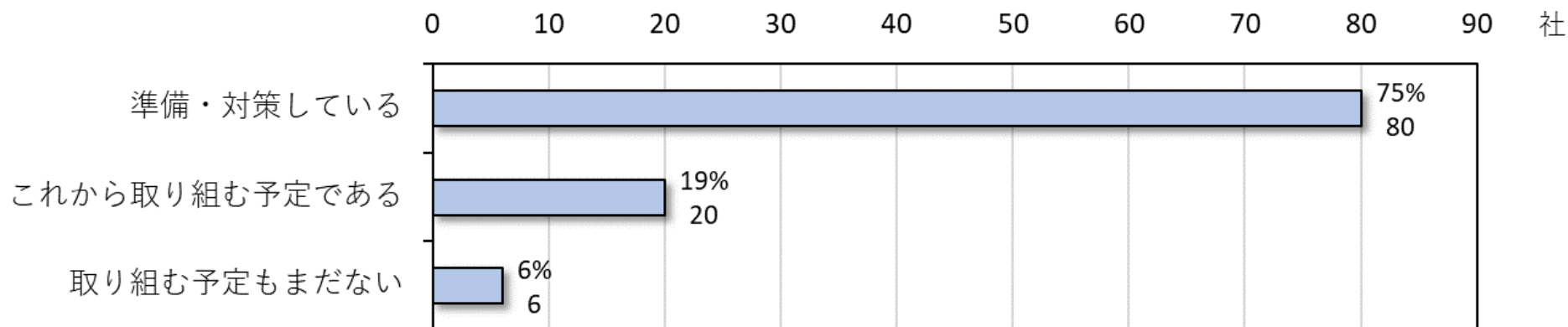
2-12. 2025年、省エネ基準への適合義務化

表 18 2025年、全建築物の省エネ基準への適合義務化に際しての準備・対策
(単位:社、割合)

項目	社	割合
準備・対策している	80	75%
これから取り組む予定である	20	19%
取り組む予定もまだない	6	6%
合計	106	100%

有効回答数:106

図 17 省エネ基準への適合義務化に際しての準備・対策



3.各部位の木材使用率について

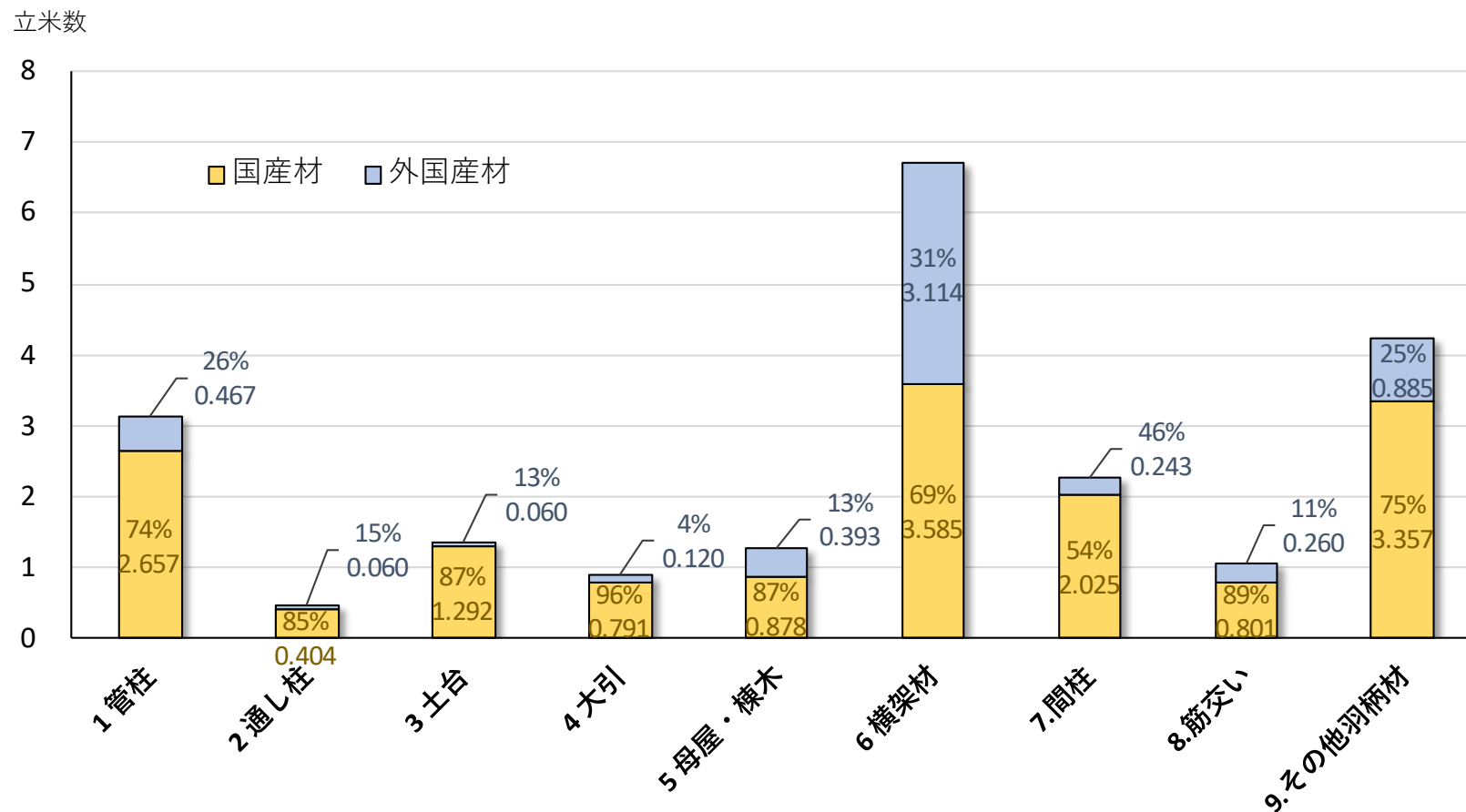
3-1～9. 一戸あたりの木材使用量(立米数)と樹種内訳

表 19 一戸あたりの木材使用量と樹種・製品種内訳(単位:立米数、%)

製品種類			樹種	1住宅あたりの平均 木材使用量（※4）	1 管柱	2 通し柱	3 土台	4 大引	5 母屋・棟木	6 横架材（※3）	7.間柱	8.筋交い	9.その他羽柄材
合計（立米）				21.394	3.124	0.465	1.352	0.911	1.271	6.699	2.269	1.061	4.241
国産材	製材	ヒノキ	3.815	1.179	0.252	1.127	0.591	0.052	0.119	0.063	0.047	0.386	
		スギ	10.493	1.195	0.133	0.122	0.156	0.821	2.994	1.708	0.488	2.876	
		その他	0.172						0.114		0.008	0.050	
	集成材	ヒノキ	0.242	0.122	0.007	0.043	0.041	0.005	0.003		0.021		
		スギ	0.963	0.161	0.010		0.003		0.279	0.255	0.236	0.020	
		カラマツ	0.068		0.003				0.065				
		その他	0.027						0.011			0.016	
	その他（LVL含む）		0.010								0.001	0.009	
	国産材計（立米）		15.791	2.657	0.404	1.292	0.791	0.878	3.585	2.025	0.801	3.357	
	国産材比率（％）		74%	85%	87%	96%	87%	69%	54%	89%	75%	79%	
外国産材	製材	ベイマツ	2.943	0.010	0.002	0.007	0.078	0.283	1.851		0.204	0.508	
		ホワイトウツ	0.367	0.015	0.004				0.069	0.108	0.044	0.128	
		レッドウッド	0.546	0.015	0.004	0.028	0.003	0.010	0.436	0.012		0.038	
		その他	0.062			0.025	0.010				0.002	0.025	
	集成材	ベイマツ	0.094					0.017	0.053		0.004	0.020	
		ホワイトウツ	0.517	0.354	0.027		0.022	0.005	0.032	0.057	0.003	0.017	
		レッドウッド	0.845	0.073	0.024		0.007	0.075	0.618			0.047	
		その他	0.141					0.003	0.050			0.089	
	その他（LVL含む）		0.087						0.007	0.067	0.003	0.011	
	外国産材計（立米）		5.603	0.467	0.060	0.060	0.120	0.393	3.114	0.243	0.260	0.885	
外国産材比率（％）		26%	15%	13%	4%	13%	31%	46%	11%	25%	21%		
有効回答数			－	61	53	60	59	59	61	59	56	55	

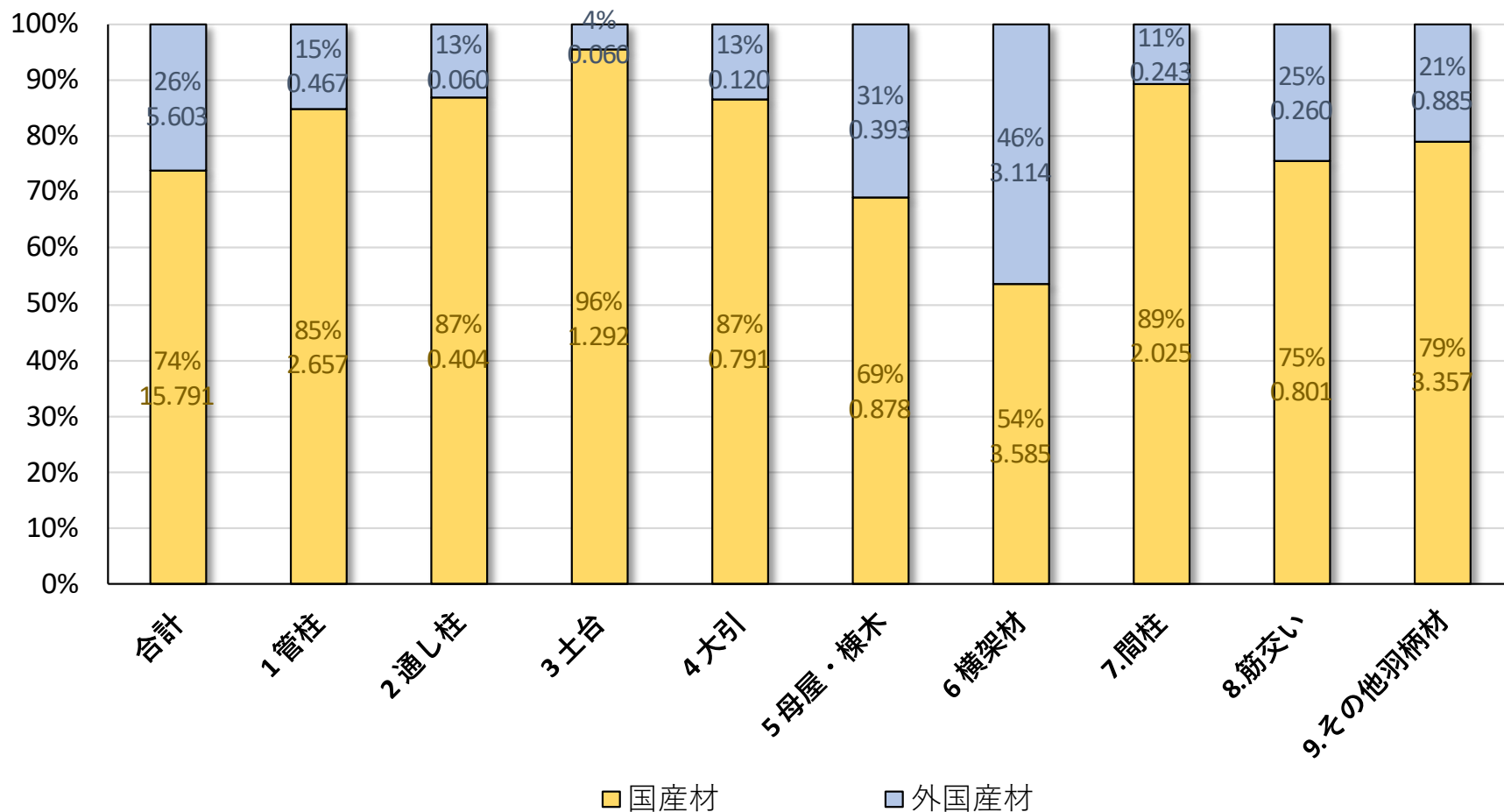
3-1～9. 一戸あたりの木材使用量(立米数)と樹種内訳

図 18 一戸あたりの木材使用量と製品種内訳(積み上げグラフ)



3-1～9. 一戸あたりの木材使用量(立米数)と樹種内訳

図 19 一棟あたりの木材使用量と製品種内訳(100%グラフ)



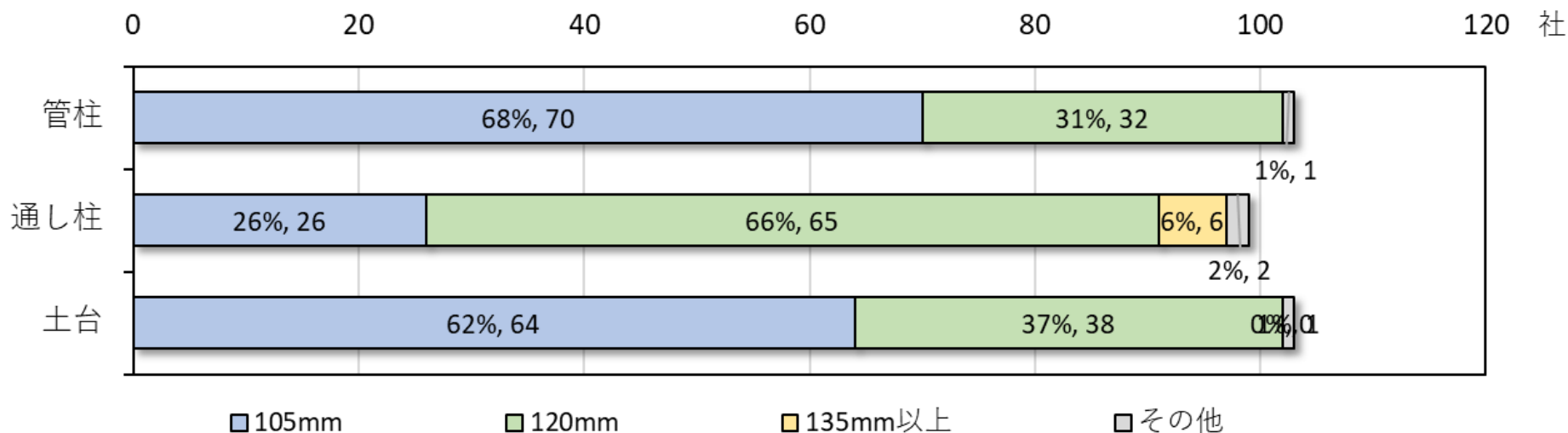
3-10. 最も使用する部材サイズ

表 20 最も使用する部材サイズ(管柱、通し柱、土台)(単位:社、割合)

項目	105mm		120mm		135mm以上		その他		合計	
		割合		割合		割合		割合		割合
管柱	70	68%	32	31%	0	0%	1	1%	103	100%
通し柱	26	26%	65	66%	6	6%	2	2%	99	100%
土台	64	62%	38	37%	0	0%	1	1%	103	100%

有効回答数: 103

図 20 最も使用する部材サイズ(管柱、通し柱、土台)



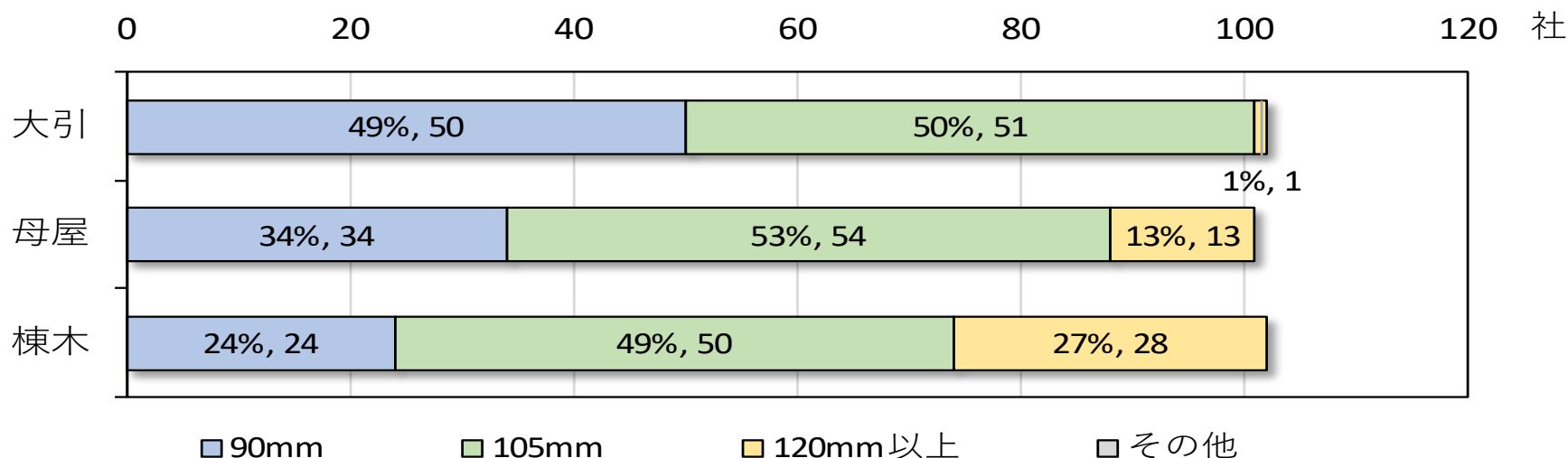
3-10. 最も使用する部材サイズ

表 21 最も使用する部材サイズ(大引、母屋、棟木)(単位:社、割合)

項目	90mm		105mm		120mm以上		その他		合計	
		割合		割合		割合		割合		割合
大引	50	49%	51	50%	1	1%	0	0%	102	100%
母屋、棟木	34	34%	54	53%	13	13%	0	0%	101	100%
棟木	24	24%	50	49%	28	27%	0	0%	102	100%

有効回答数:103

図 21 最も使用する部材サイズ(大引、母屋、棟木)



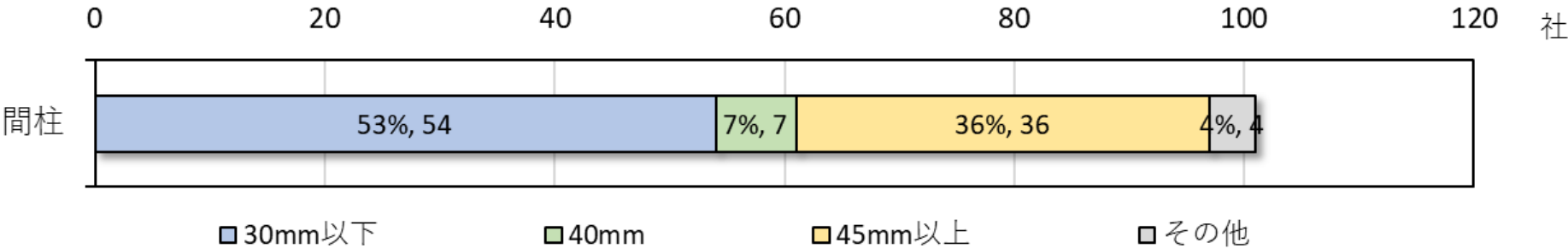
3-10. 最も使用する部材サイズ

表 22 最も使用する部材サイズ(間柱)(単位:社、割合)

項目	30mm以下		40mm		45mm以上		その他		合計	
		割合		割合		割合		割合		割合
間柱	54	53%	7	7%	36	36%	4	4%	101	100%

有効回答数:103

図 22 最も使用する部材サイズ(間柱)



3-11. 面材下地(床・外壁・屋根)の利用状況

3-11-1. 全戸中で使用している戸数(企業規模別・製品種別)

表 23 全戸中で使用している戸数(床)(単位:戸)

項目	構造用合板	パーティクル ボード	構造用パネ ル (OSB)	木質中密度 繊維板 (MDF)	無機系面材 (ダイライ ト・モイス 等)	製材 (荒床 材・きず り・野地 板)
0戸、供給戸数未記入						
1戸～4戸	126				2	7
5戸～14戸	276	7	37			28
15戸～49戸	494			41	5	
50戸～99戸	58	58	58			
100戸超	440					
戸数	1,394	65	95	41	7	35

有効回答数:80

3-11. 面材下地(床・外壁・屋根)の利用状況

3-11-1. 全戸中で使用している戸数(企業規模別・製品種別)

表 24 全戸中で使用している戸数(外壁)(単位:戸)

項目	構造用合板	パーティクル ボード	構造用パネ ル (OSB)	木質中密度 繊維板 (MDF)	無機系面材 (ダイライ ト・モイス 等)	製材 (荒床 材・きず り・野地 板)
0戸、供給戸数未記入						
1戸～4戸	16	23		11	6	1
5戸～14戸	56	24	19	5	66	8
15戸～49戸	104	46	1	70	164	11
50戸～99戸	58				58	
100戸超	150	60	60	30	240	
戸数	383	152	80	116	533	19

有効回答数:80

3-11. 面材下地(床・外壁・屋根)の利用状況

3-11-1. 全戸中で使用している戸数(企業規模別・製品種別)

表 25 全戸中で使用している戸数(屋根)(単位:戸)

有効回答数:80

項目	構造用合板	パーティクル ボード	構造用パネ ル (OSB)	木質中密度 繊維板 (MDF)	無機系面材 (ダイライ ト・モイス 等)	製材(荒床 材・きず り・野地 板)
0戸、供給戸数未記入						
1戸～4戸	45		3			69
5戸～14戸	147	5	39			76
15戸～49戸	301			41	64	30
50戸～99戸						
100戸超	140			100		
戸数	633	5	42	141	64	175

3-11. 面材下地(床・外壁・屋根)の利用状況

3-11-3. 使用している構造用合板厚さ

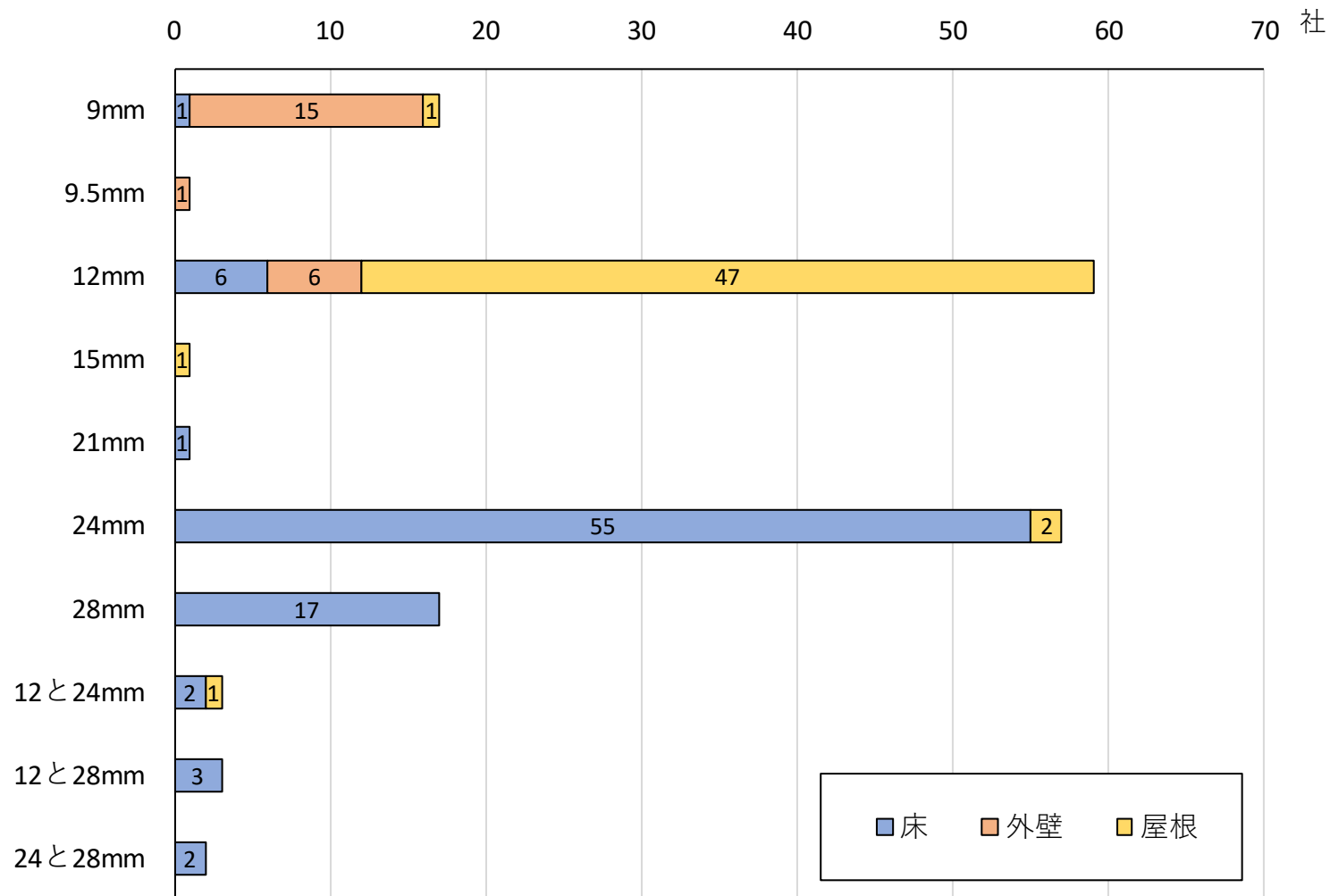
表 26 構造用合板厚さ(単位:社)

合板厚さ	床	外壁	屋根
9mm	1	15	1
9.5mm		1	
12mm	6	6	47
15mm			1
21mm	1		
24mm	55		2
28mm	17		
12と24mm	2		1
12と28mm	3		
24と28mm	2		
合計	87	22	52
有効回答数	66	21	51

3-11. 面材下地(床・外壁・屋根)の利用状況

3-11-3. 使用している構造用合板厚さ

図 23 構造用合板厚さ



3-12. 内装用無垢板材(床・壁)の利用状況

3-12-1. 全戸中で使用している戸数(企業規模別)

表 27 全戸中で使用している戸数(企業規模別)(単位:戸)

項目	床	壁
0戸、供給戸数未記入		
1戸～4戸	11	3
5戸～14戸	124	43
15戸～49戸	77	40
50戸～99戸		
100戸超		
戸数	212	86
有効回答数	26	18

4.木材の調達について

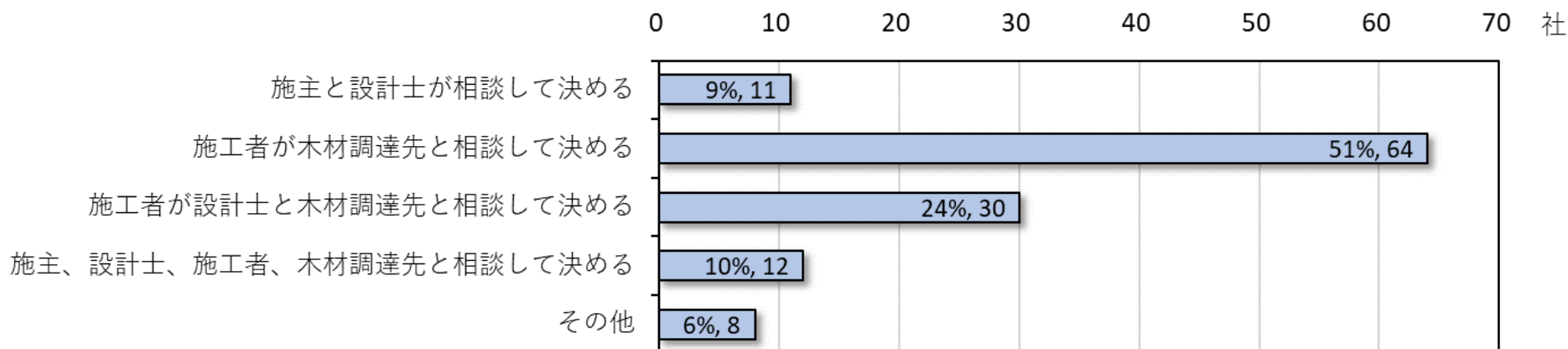
4-1. 供給する木造住宅における木材使用の選択者

表 28 供給する木造住宅における木材使用の選択者(単位:社、割合)

選択者項目	社	割合
施主と設計士が相談して決める	11	9%
施工者が木材調達先と相談して決める	64	51%
施工者が設計士と木材調達先と相談して決める	30	24%
施主、設計士、施工者、木材調達先と相談して決める	12	10%
その他	8	6%
合計	125	100%

有効回答数:109

図 24 木造住宅における木材使用の選択者



4-2. 調達する際に意識する点

表 29 調達する際に意識する点(複数回答可)(単位:件数、%)

意識する項目	構造材 (※6)		羽柄材 (※7)		内装材		外装材	
		割合		割合		割合		割合
価格	85	11%	81	16%	73	17%	60	18%
供給安定性	71	9%	58	12%	41	9%	37	11%
寸法安定性	58	8%	52	10%	46	11%	34	10%
色・香り・目合い	24	3%	9	2%	48	11%	26	8%
国産材	60	8%	36	7%	34	8%	24	7%
無垢材	45	6%	31	6%	46	11%	28	8%
集成材	29	4%	8	2%	8	2%	4	1%
天然乾燥材	21	3%	9	2%	11	3%	7	2%
人工乾燥材(複数回答可)	91	12%	60	12%	30	7%	24	7%
低温(中温以下)	14	2%	8	2%	6	1%	4	1%
中温(60～100度)	17	2%	12	2%	4	1%	2	1%
高温(中温以上)	10	1%	3	1%	0	0%	0	0%
蒸気式	7	1%	2	0%	1	0%	0	0%
除湿式	2	0%	3	1%	2	0%	1	0%
減圧式	4	1%	2	0%	0	0%	1	0%
真空乾燥	2	0%	2	0%	1	0%	1	0%
高周波加熱	2	0%	1	0%	0	0%	0	0%
人工乾燥だが方法にこだわりなし	33	4%	27	5%	16	4%	15	4%
その他	0	0%	0	0%	0	0%	0	0%
木材強度	56	7%	16	3%	4	1%	6	2%
JAS認定材	52	7%	16	3%	10	2%	9	3%
都道府県認証材	38	5%	18	4%	3	1%	8	2%
森林認証材	21	3%	10	2%	11	3%	4	1%
製造・輸送過程のCO ₂ 排出量	11	1%	7	1%	4	1%	5	1%
生産・流通過程の透明性	28	4%	15	3%	12	3%	11	3%
取引先の信頼性	69	9%	56	11%	46	11%	42	12%
調達先任せ	12	2%	15	3%	8	2%	8	2%
合計	771	100%	497	100%	435	100%	337	100%
有効回答数	107		102		92		74	

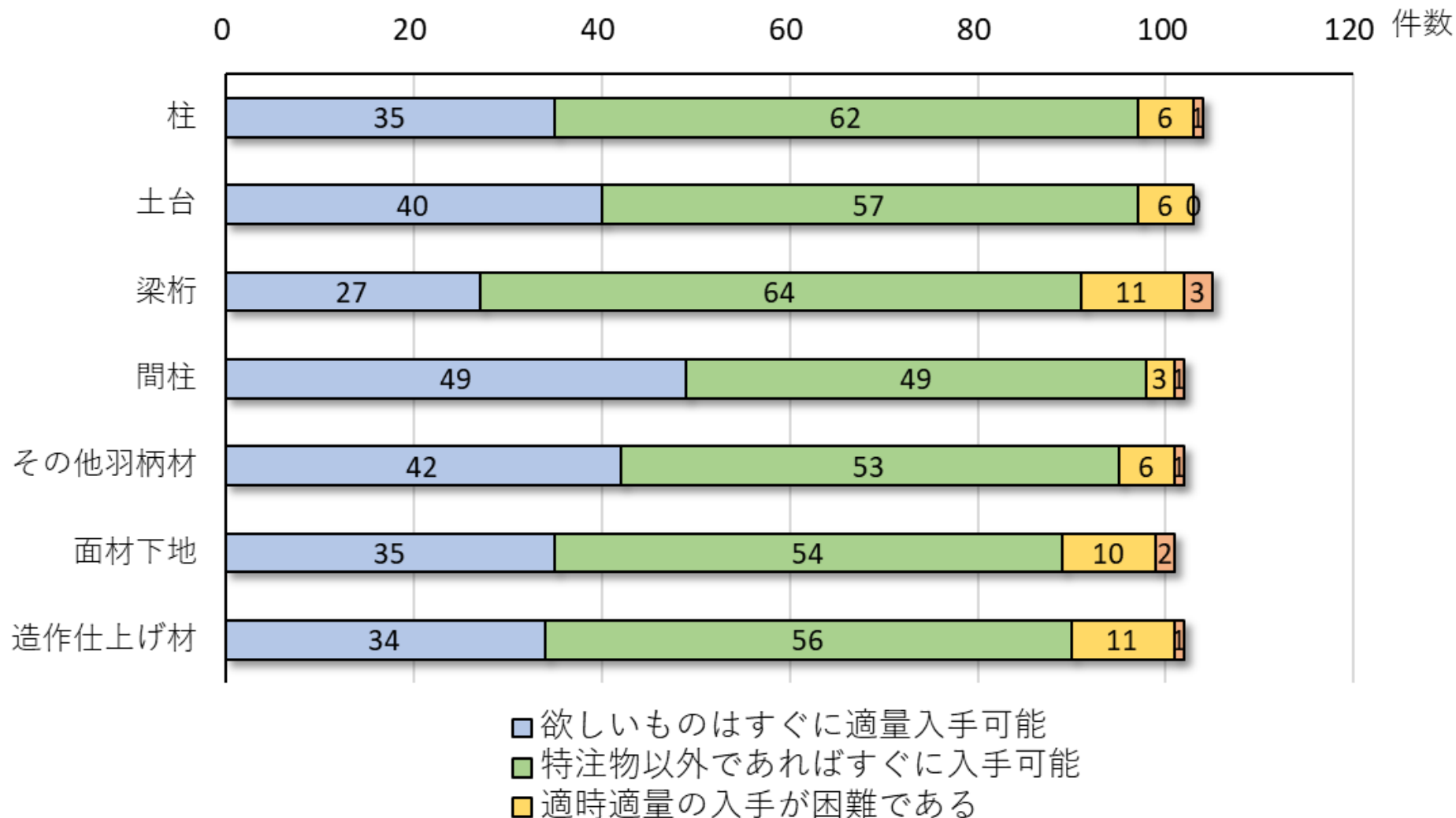
4-3-1. 国産材の適時適量の確保について

表 30 国産材の適時適量の確保について、部材別にあてはまるものを一つ選択してください
(単位: 件数、%)

適時適量の確保項目	柱	土台	梁桁	間柱	その他 羽柄材	面材下 地	造作仕 上げ材
欲しいものはすぐに適量入手可能	35	40	27	49	42	35	34
特注物以外であればすぐに入手可能	62	57	64	49	53	54	56
適時適量の入手が困難である	6	6	11	3	6	10	11
欲しいものが入手できない	1	0	3	1	1	2	1
合計と有効回答数	104	103	105	102	102	101	102

4-3-1. 国産材の適時適量の確保について

図 25 国産材の適時適量の確保



4-3-2. 木材(特に国産材)の調達について課題について(自由記入)

【価格面・7件】

- ・割高
- ・2年前に比べ価格が上がった
- ・国産材の単価の上昇
- ・数年前と比較しても単価が上がっているので今後購入しにくくなる可能性があります。
価格が安定しない
- ・近年の価格上昇及び、受注時と施工時の木材価格差によって利益額の減少が問題である。
- ・柱は地産材のスギを利用しているが、価格競争力がなく、高い。また、乾燥方法も自社指定の中温乾燥で行っているが、乾燥が甘いのでは？と思っている。乾燥方法にこだわっていきたいという希望があるが、ウッドショックなどの背景があり、あまり細かい指定ができない。
- ・産地の要因により価格を上げてしまうのは、どうかと思う。

4-3-2. 木材(特に国産材)の調達について課題について(自由記入)

【流通面・5件】

- ・購入先への確保、流通量の安定性
- ・柱だけでも国産材にしたいが、供給量が安定しない。
- ・流通のネットワークが不明
- ・選木の手間を惜しむ製材・森林組合が増えた(ペレットや積層材が増えたため)
- ・一等材料の単価上昇と化粧材の需要の減少のため

【材料固有の問題・3件】

- ・色見が問題
- ・特殊寸法は時間がかかる
- ・良い材料を小ロットで買うことが、非常に難しいです。

【材料固有の問題・3件】

- ・製材事業者の後継者がいない
- ・材木屋さんに一任しているので注文し入荷した時点でないと国産か外材かがわからない
- ・地域連携で製材所(乾燥施設・S4S機械)を安定的に供給して頂いている。今後は強度表示(JAS化)に向けて設備体制を強化していきたい

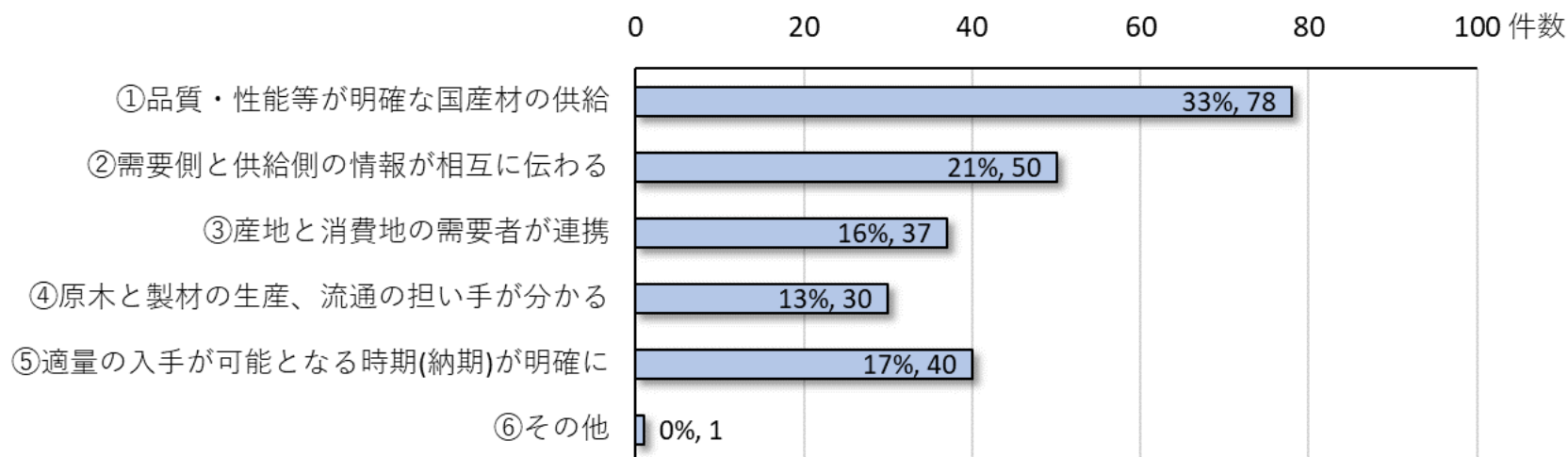
4-4. 国産材の供給に望むこと

表 31 国産材の供給に望むこと(複数回答可)(単位:件数、%)

国産材供給に望む項目	件数	割合
①含水率、強度等、品質・性能が明確な国産材の供給	78	33%
②需要側と供給側の情報が相互に伝わる適時適量の供給	50	21%
③産地の生産者と消費地の需要者が連携した供給体制づくり	37	16%
④原木と製材の生産、流通の担い手が分かるような供給材の仕組み	30	13%
⑤適量の入手が可能となる時期(納期)が明確になるような供給体制づくり	40	17%
⑥その他	1	0%
合計	236	100%

図 26 国産材の供給に望むこと

有効回答数:100



4-6. 各部位別の木材の購入先の割合

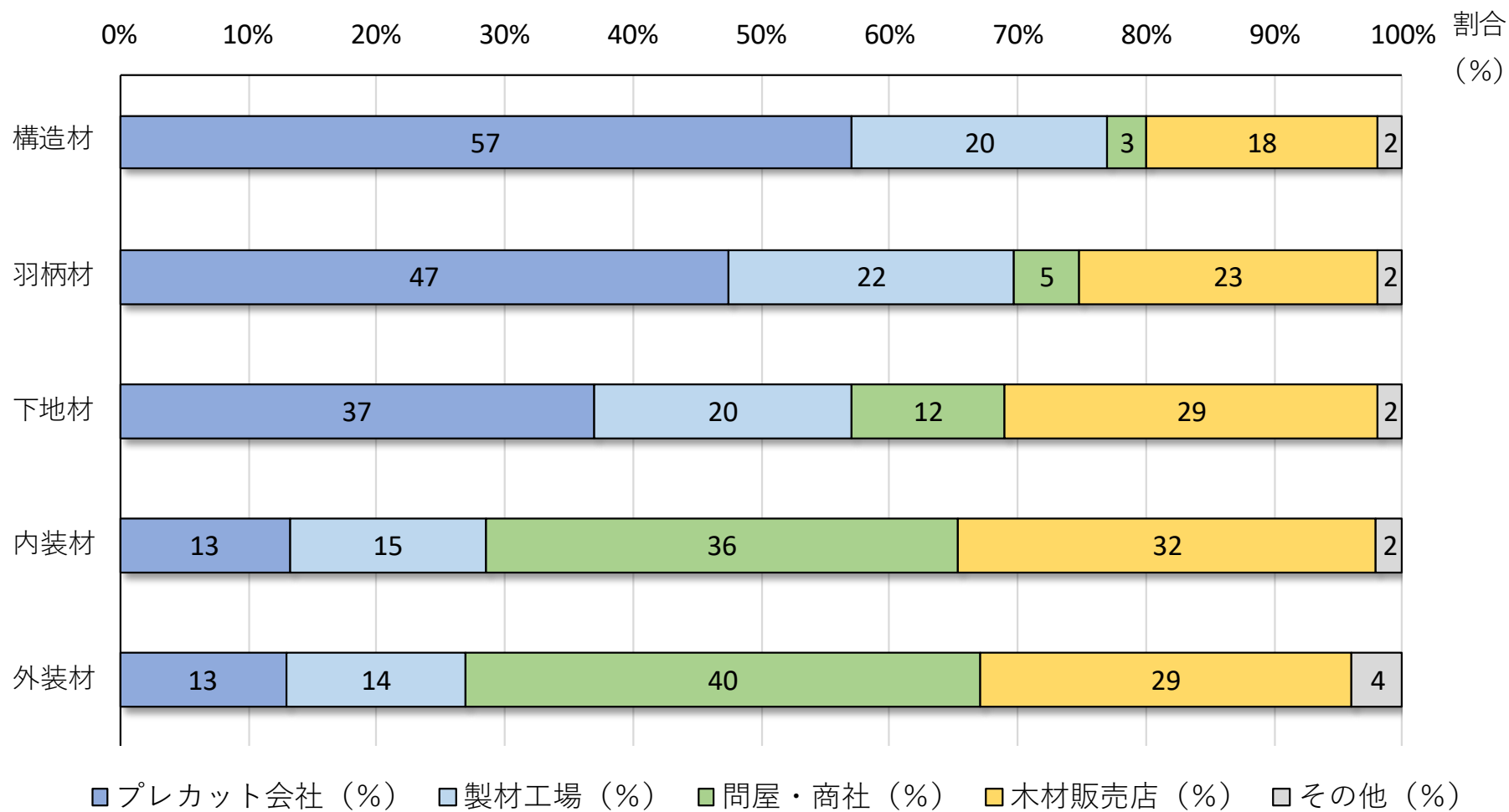
※8 構造材は柱・土台・大引・母屋・棟木・横架材を指す。羽柄材は間柱・根太・筋交い・垂木・貫などを指す。内装材・外装材は床・壁用の無垢板材のみを指す。

表 32 各部位別の木材 の購入先の割合(単位: %)

部材・購入先項目	プレカット 会社 (%)	製材工場 (%)	問屋・商社 (%)	木材販売店 (%)	その他 (%)	有効回答 数
構造材	57	20	3	18	2	87
羽柄材	47	22	5	23	2	86
下地材	37	20	12	29	2	86
内装材	13	15	36	32	2	84
外装材	13	14	40	29	4	79

4-6. 各部位別の木材の購入先の割合

図 27 各部位別・木材購入先の割合



集計注 工務店が部材購入先に依頼している割合を合計し、有効回答数で割っている(合計が100%)

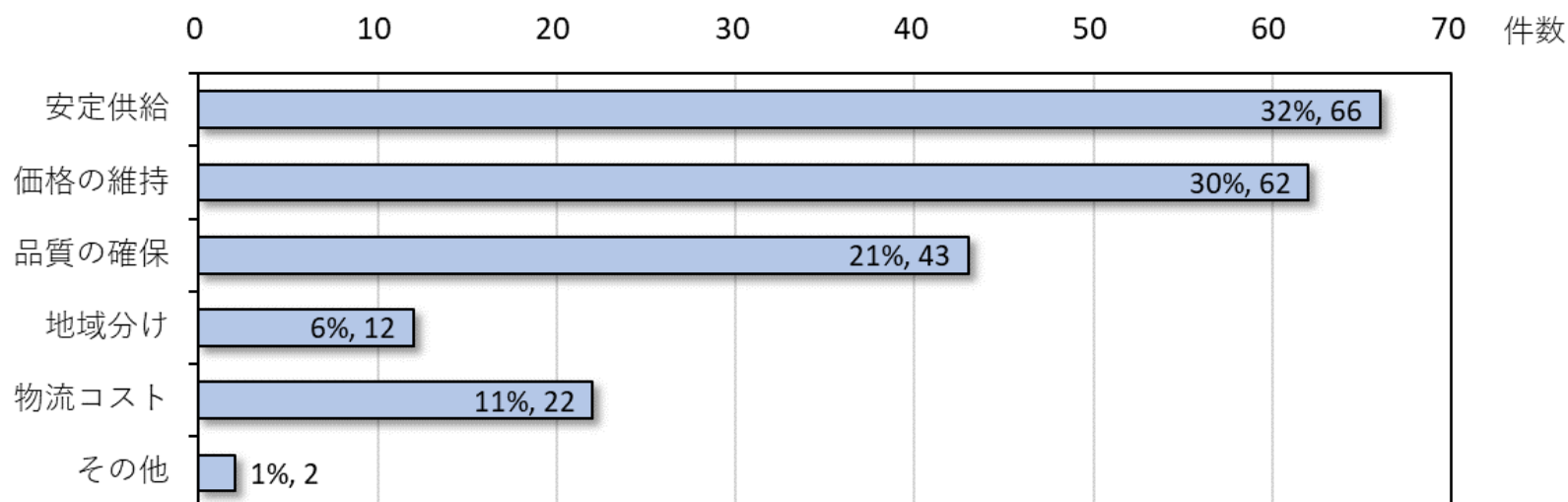
4-7. 同一品目に複数購入先がある場合の理由

表 33 同一品目に複数購入先がある場合の選択理由(単位:件数、%)

購入先選択理由	件数	割合
安定供給	66	32%
価格の維持	62	30%
品質の確保	43	21%
地域分け	12	6%
物流コスト	22	11%
その他	2	1%
合計	207	100%

有効回答数:79

図 28 同一品目に複数購入先がある場合の選択理由



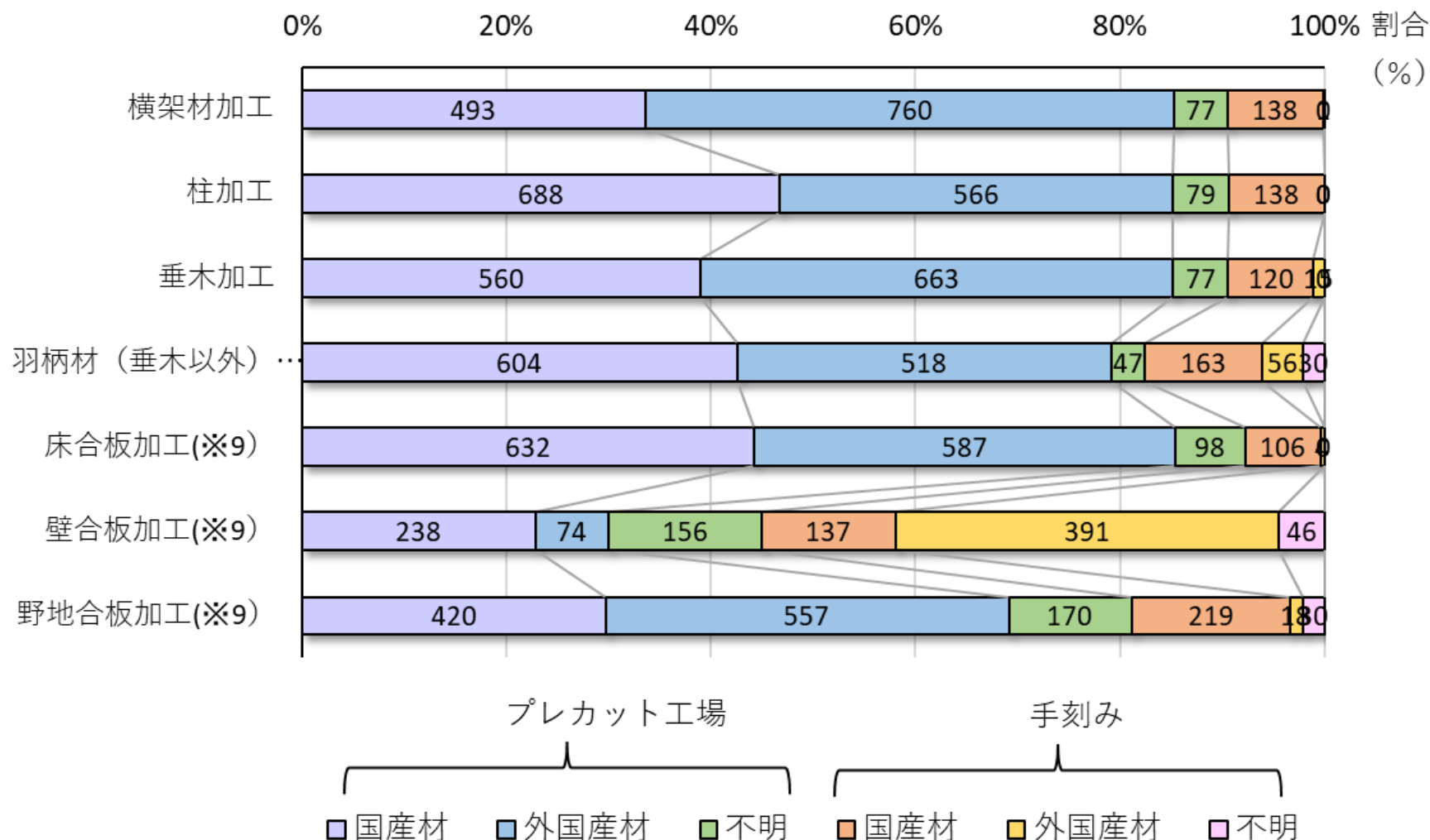
4-8. 各部材の加工形態

表 34 各部材の加工形態(単位:戸数)

加工形態項目 (加工割合%)	プレカット工場			手刻み			計	有効回答数
	国産材	外国産材	不明	国産材	外国産材	不明		
横架材加工	493	760	77	138	1	0	1,469	91
柱加工	688	566	79	138	0	0	1,471	91
垂木加工	560	663	77	120	15	0	1,434	88
羽柄材 (垂木以外) 加工	604	518	47	163	56	30	1,418	87
床合板加工(※9)	632	587	98	106	4	0	1,428	87
壁合板加工(※9)	238	74	156	137	391	46	1,042	66
野地合板加工(※9)	420	557	170	219	18	30	1,413	86

4-8. 各部材の加工形態

図 29 各部材の加工形態(100%グラフ)



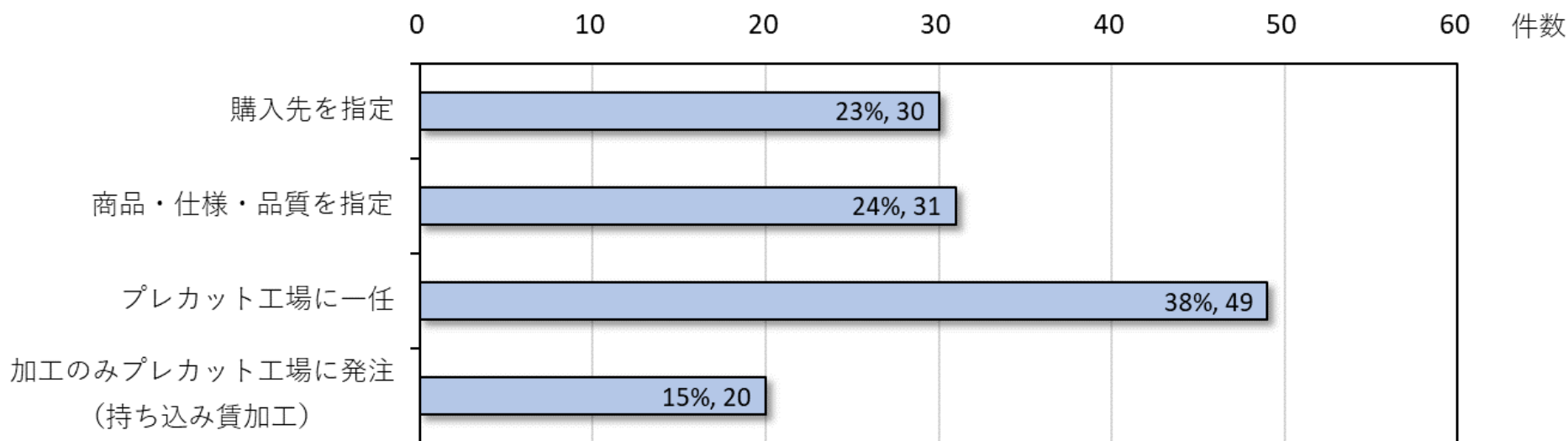
4-9. プレカット工場への木材納入方法

表 35 プレカット工場への木材納入方法(複数回答あり)(単位:件数)

納入方法項目	件数	割合
購入先を指定	30	23%
商品・仕様・品質を指定	31	24%
プレカット工場に一任	49	38%
加工のみプレカット工場に発注 (持ち込み賃加工)	20	15%
合計	130	100%

有効回答数:99

図 30 プレカット工場への木材納入方法



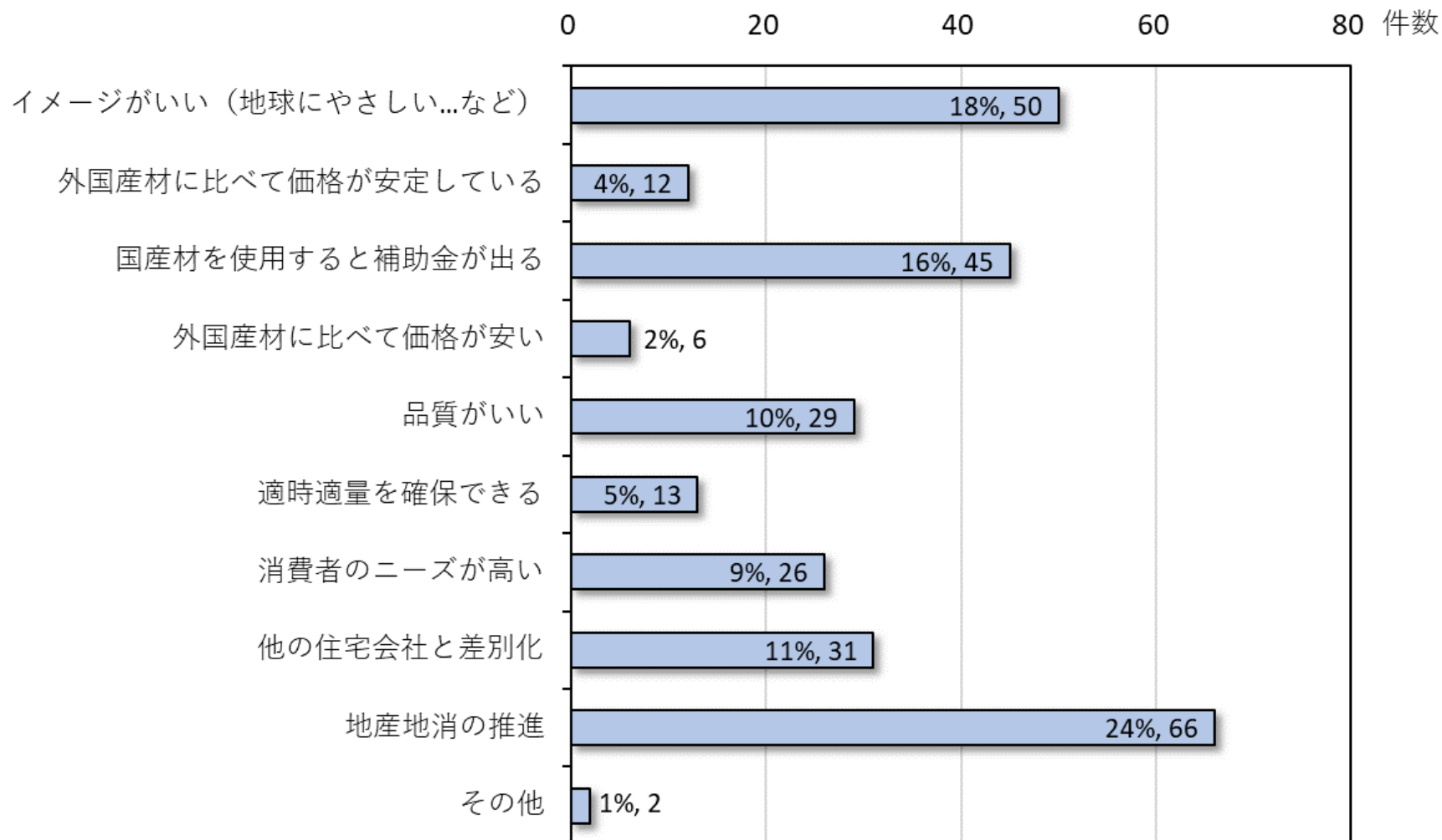
4-10. 国産材を使用する理由

表 36 国産材を使用する理由(複数回答あり)(単位:件数、%)

国産材を使用する理由項目	件数	割合
イメージがいい(地球にやさしい…など)	50	18%
外国産材に比べて価格が安定している	12	4%
国産材を使用すると補助金が出る	45	16%
外国産材に比べて価格が安い	6	2%
品質がいい	29	10%
適時適量を確保できる	13	5%
消費者のニーズが高い	26	9%
他の住宅会社と差別化	31	11%
地産地消の推進	66	24%
その他	2	1%
合計	280	100%

4-10. 国産材を使用する理由

図 31 国産材を使用する理由



【その他のうち記述があったもの】

・当社はすべて国産材を使用しております。 ・自社のこだわり

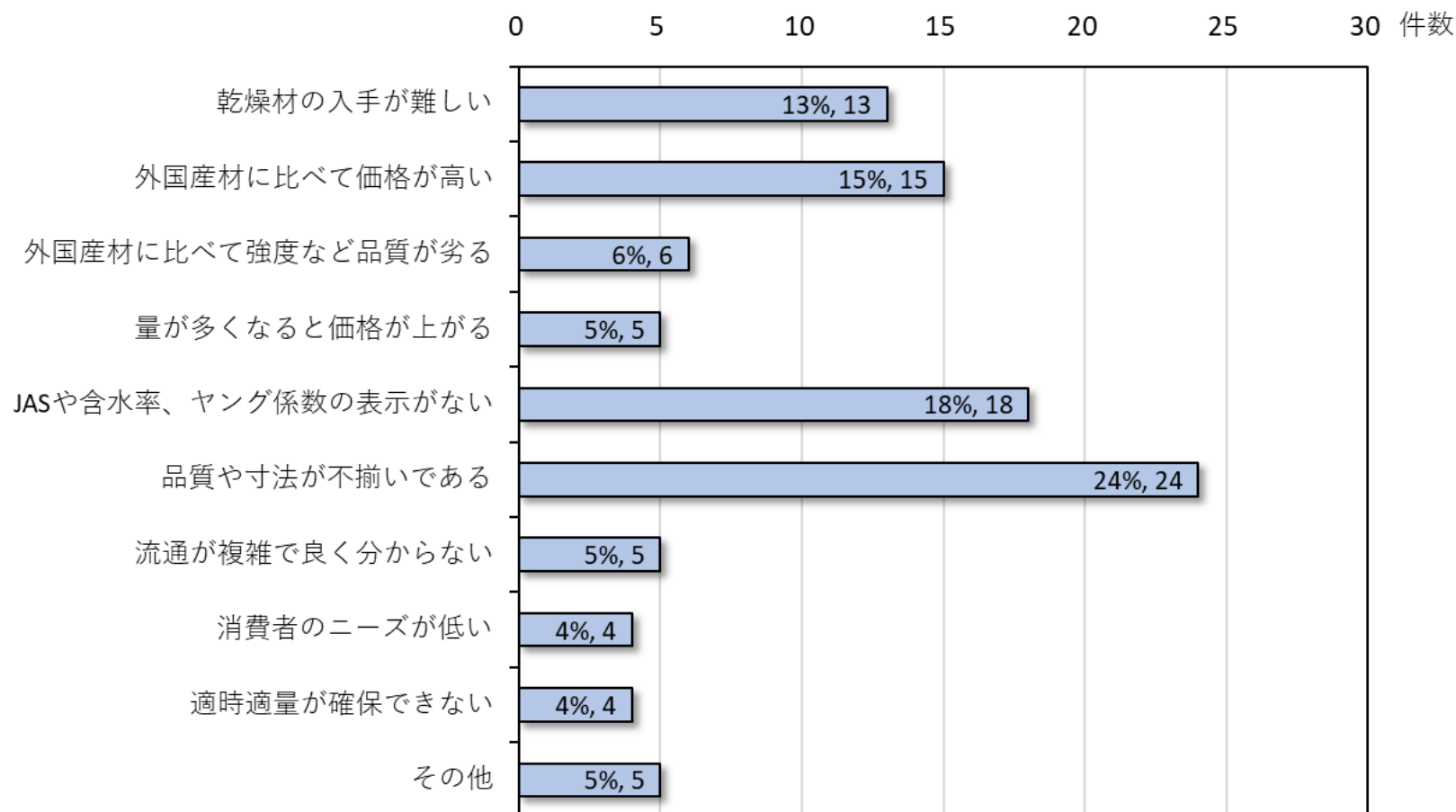
4-11. 国産材を使用しない理由

表 37 国産材を使用しない理由(複数回答あり)(単位:件数、%)

国産材を使用しない理由項目	件数	割合
乾燥材の入手が難しい	13	13%
外国産材に比べて価格が高い	15	15%
外国産材に比べて強度など品質が劣る	6	6%
量が多くなると価格が上がる	5	5%
JASや含水率、ヤング係数の表示がない	18	18%
品質や寸法が不揃いである	24	24%
流通が複雑で良く分からない	5	5%
消費者のニーズが低い	4	4%
適時適量が確保できない	4	4%
その他	5	5%
合計	99	100%

4-11. 国産材を使用しない理由

図 32 国産材を使用しない理由



4-12. ウッドショックによる国産材利用の増加

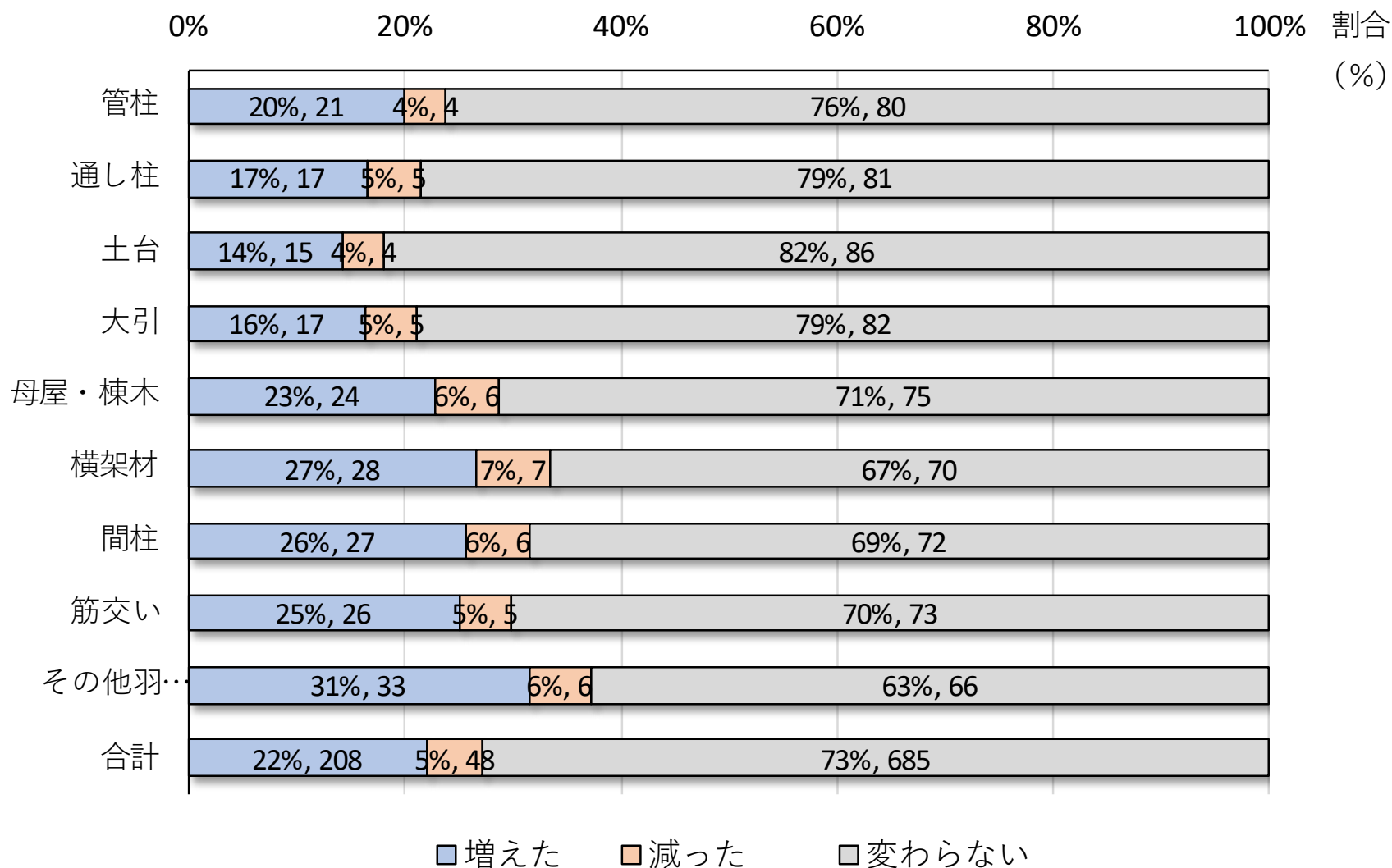
表 38 今回のウッドショックを踏まえて、国産材の利用は増えましたか？（単位：社）

増加・減少項目	増えた	減った	変わらない	計
管柱	21	4	80	105
通し柱	17	5	81	103
土台	15	4	86	105
大引	17	5	82	104
母屋・棟木	24	6	75	105
横架材	28	7	70	105
間柱	27	6	72	105
筋交い	26	5	73	104
その他羽柄材	33	6	66	105
合計	208	48	685	941

有効回答数：105

4-12. ウッドショックによる国産材利用の増加

図 33 ウッドショックによる国産材利用の増加



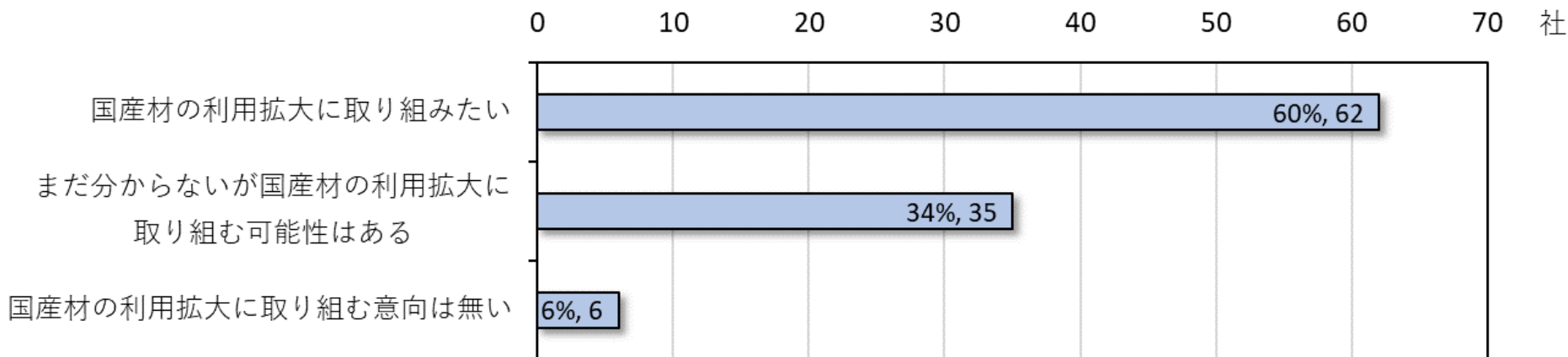
4-13. ウッドショックを踏まえた中長期的に国産材の利用拡大

表 39 今回のウッドショックを踏まえて、外国産材の入手難・価格高騰が落ち着いた後にも中長期的に国産材の利用拡大に取り組みたいです か？（単位：社）

中長期的な国産材利用拡大項目	件数	割合
国産材の利用拡大に取り組みたいです	62	60%
まだ分からないが国産材の利用拡大に取り組む可能性はある	35	34%
国産材の利用拡大に取り組む意向は無い	6	6%
合計	103	100%

有効回答数：103

図 34 ウッドショックを踏まえた中長期的に国産材の利用拡大



4-14. 国産材の利用拡大に取り組みたい部材

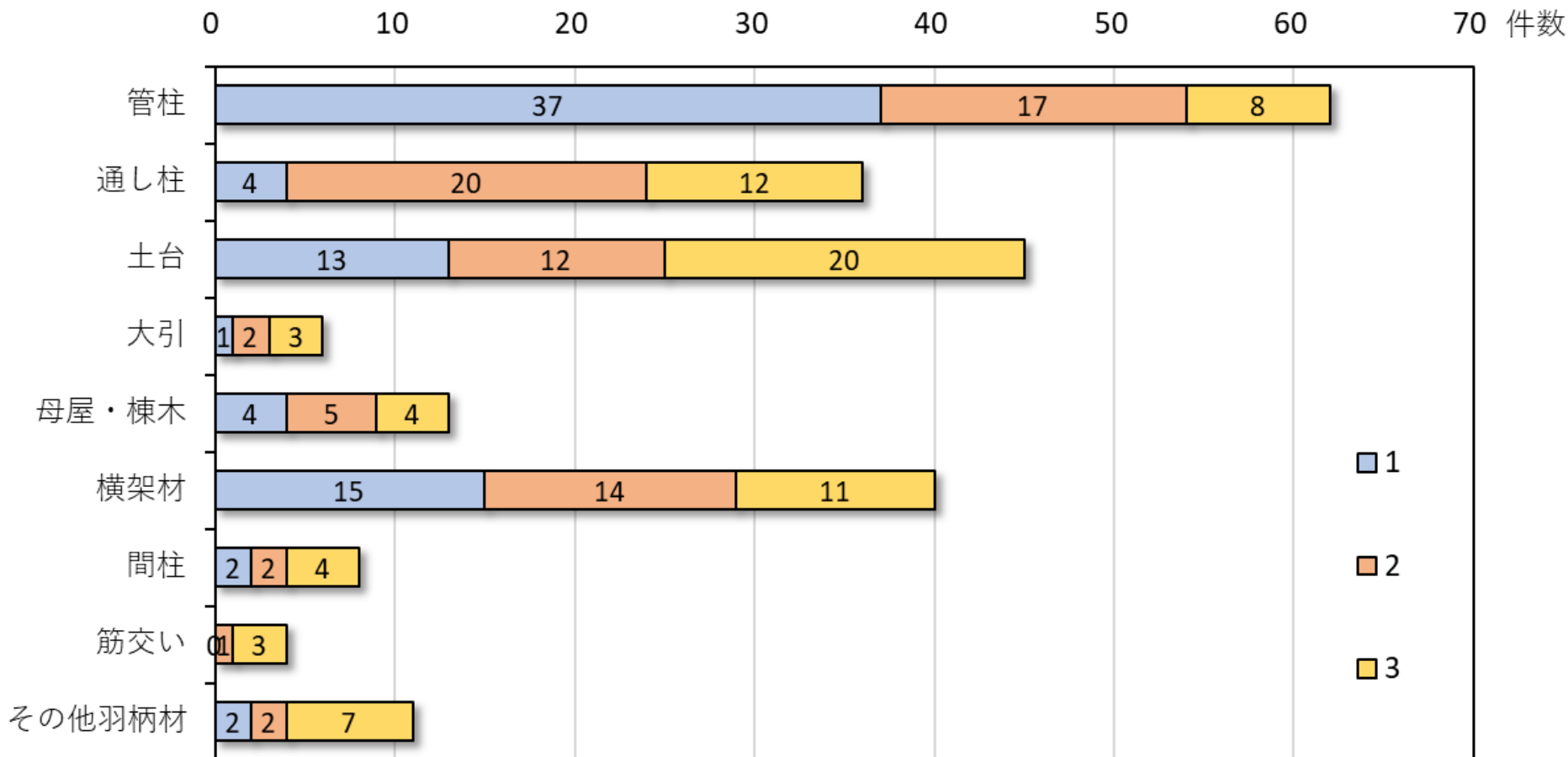
表 40 特に重点的に国産材の利用拡大に取り組みたい部材
 (上位3つまで優占順に1～3を記入)(複数回答あり)(単位:件数)

国産材利用拡大に取り組みたい部材項目		1	2	3
管柱		37	17	8
通し柱		4	20	12
土台		13	12	20
大引		1	2	3
母屋・棟木		4	5	4
横架材		15	14	11
間柱		2	2	4
筋交い		0	1	3
その他羽柄材		2	2	7

有効回答数:76

4-14. 国産材の利用拡大に取り組みたい部材

図 35 国産材の利用拡大に取り組みたい部材



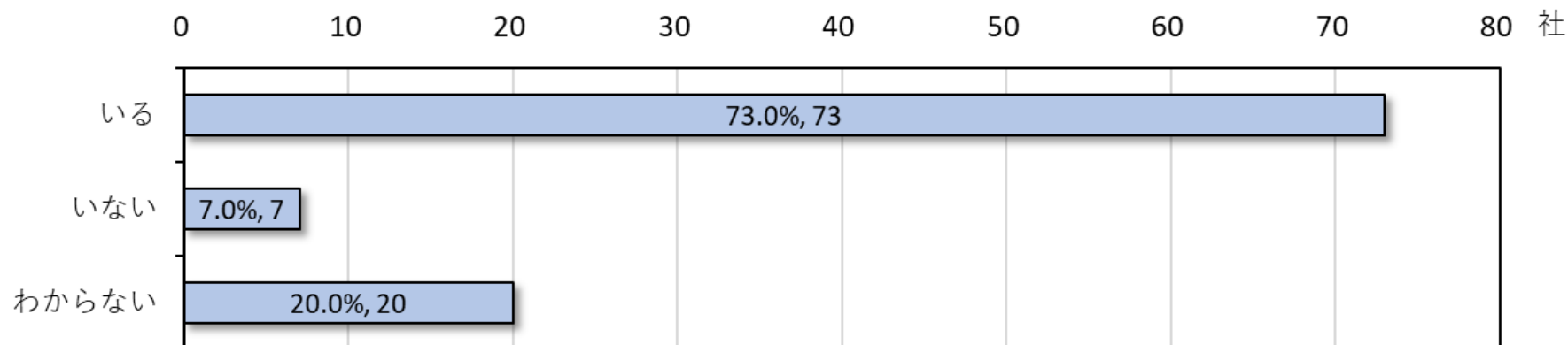
4-18. 脱炭素社会に貢献していることの認識

表 41 国産材のカーボンニュートラル、脱炭素社会に貢献していることの認識(単位:社)

国産材、GHG貢献項目	いる	いない	わからない
0戸、および年間供給戸数空欄の	7		2
1戸～4戸	18	3	7
5戸～14戸	28	2	8
15戸～49戸	17	2	2
50戸～99戸	1		
100戸超	2		1
合計	73	7	20
割合	73.0%	7.0%	20.0%

有効回答数:100

図 36 脱炭素社会に貢献していることの認識



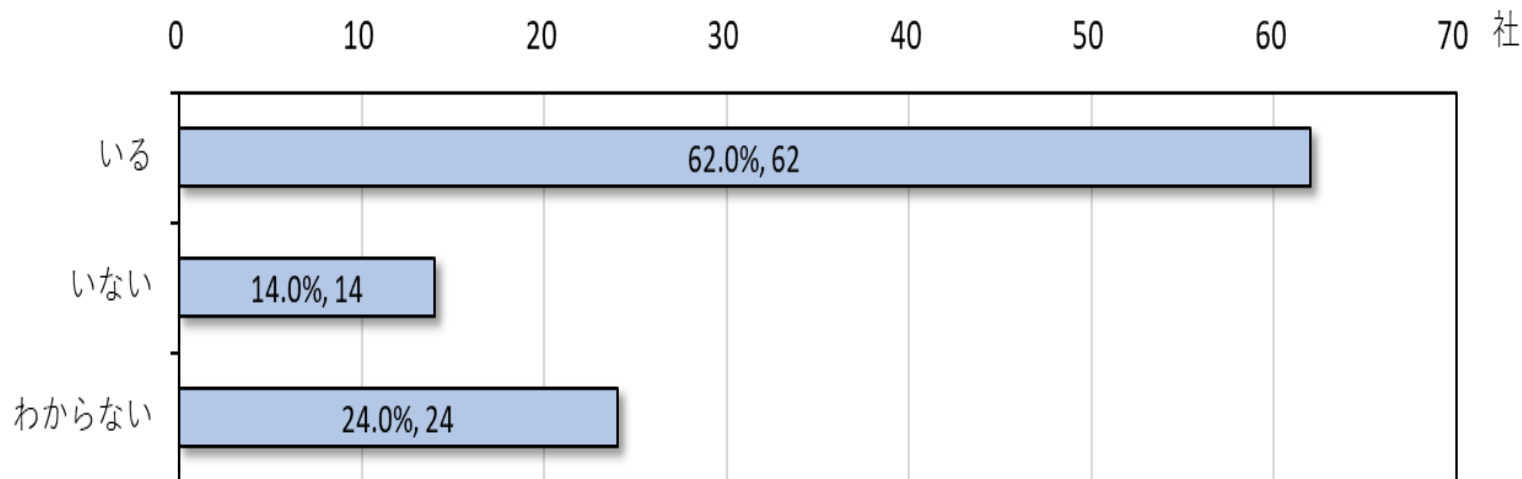
4-19. 国産材利用・SDGsの推進

表 42 国産材利用をSDGsの取組として推進していますか？（単位：社）

SDG s 取組の推進	いる	いない	わからない
0戸、および年間供給戸数空欄の	4	2	3
1戸～4戸	15	5	8
5戸～14戸	23	5	10
15戸～49戸	17	2	2
50戸～99戸	1		
100戸超	2		1
合計	62	14	24
割合	62.0%	14.0%	24.0%

有効回答数：100

図 37 SDGs取組の推進



5. 木材以外の材料について

5-1. 屋根材料の種類

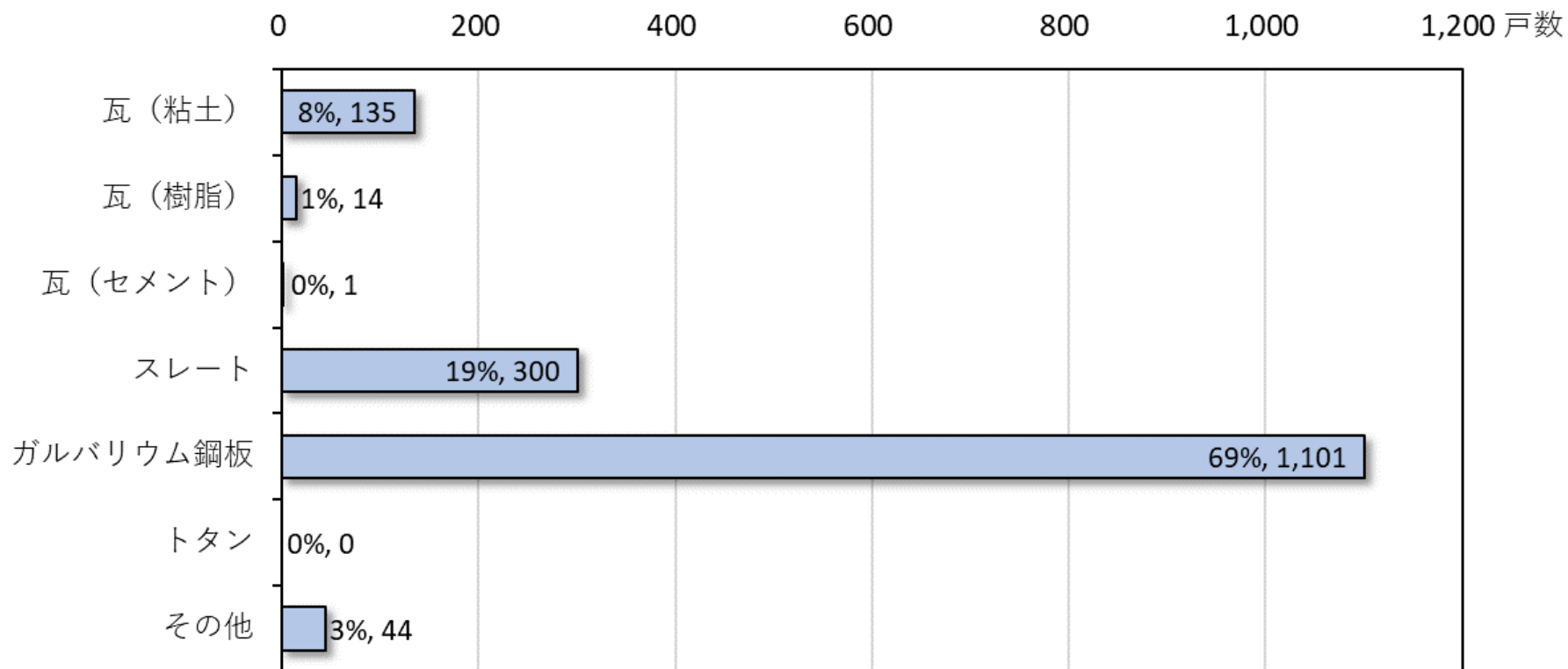
表 43 屋根材料の種類(単位:戸数、%)

屋根材料・項目	戸数	割合
瓦（粘土）	135	8%
瓦（樹脂）	14	1%
瓦（セメント）	1	0%
スレート	300	19%
ガルバリウム鋼板	1,101	69%
トタン	0	0%
その他	44	3%
合計	1,595	100%

有効回答数:79

5-1. 屋根材料の種類

図 38 屋根材料の種類



5-2. 断熱材の種類

【戸数】

表 44 断熱材の種類(単位:戸数、%)

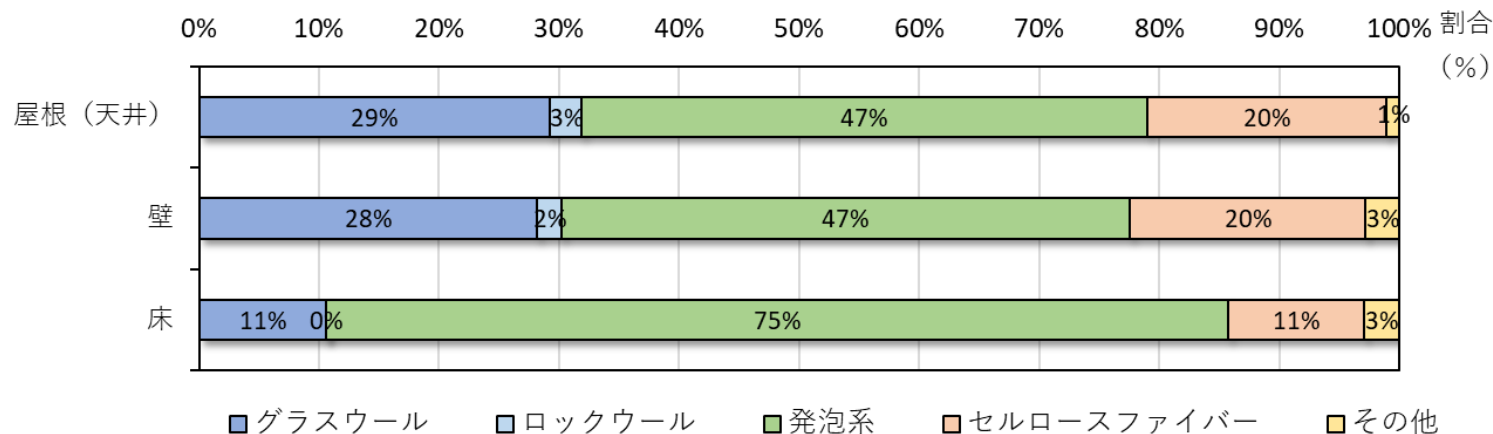
断熱材の種類・項目	グラスウール	ロックウール	発泡系			セルロースファイバー	その他	合計
			ポリスチレン	ウレタン	フェノール			
屋根(天井)	473	42	43	671	48	323	17	1,617
壁	450	32	30	662	64	314	45	1,597
床	164	1	873	169	125	176	46	1,554

【戸数割合】

屋根(天井)	29%	3%	47%			20%	1%	100%
壁	28%	2%	47%			20%	3%	100%
床	11%	0%	75%			11%	3%	100%

図 39 断熱材の種類

有効回答数:屋根95、壁94、床91



5-3. 外壁の種類

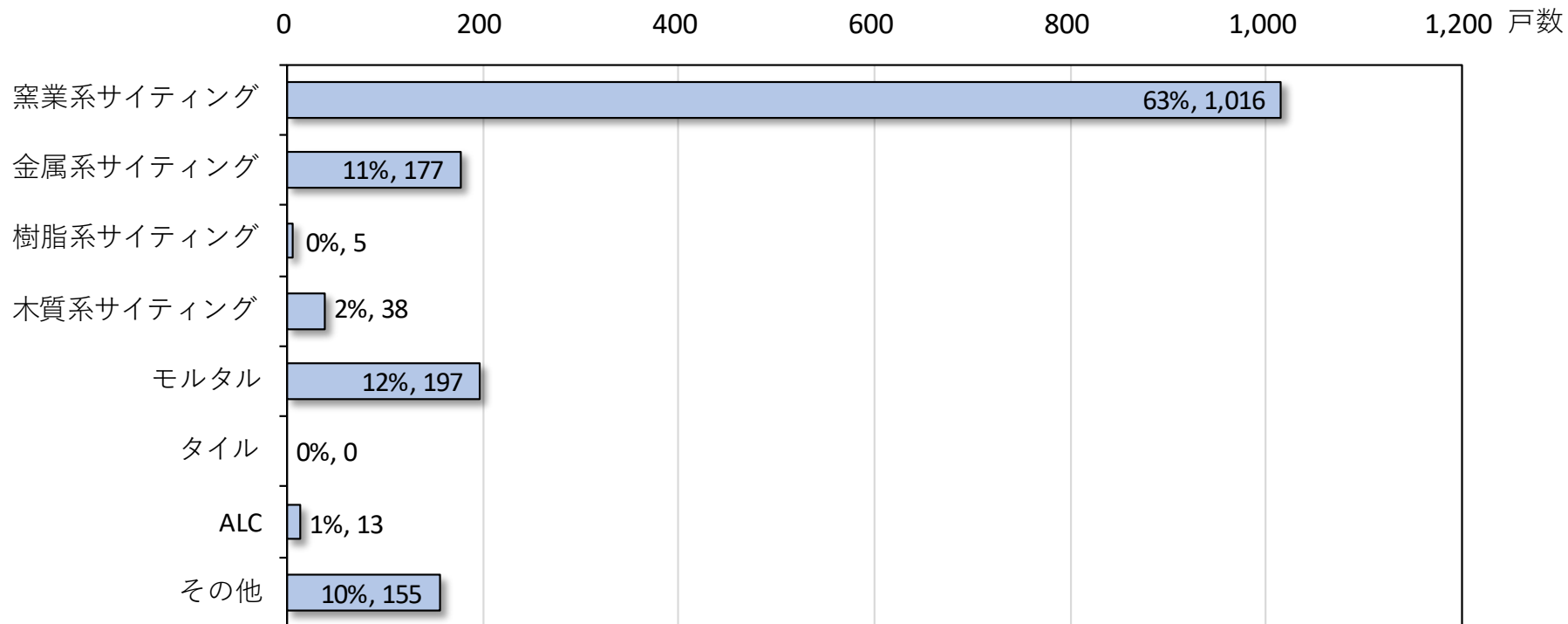
表 45 外壁の種類(単位:戸数、%)

外壁の種類・項目	戸数	割合
窯業系サイディング	1,016	63%
金属系サイディング	177	11%
樹脂系サイディング	5	0%
木質系サイディング	38	2%
モルタル	197	12%
タイル	0	0%
ALC	13	1%
その他	155	10%
合計	1,601	100%

有効回答数:93

5-3. 外壁の種類

図 40 外壁の種類



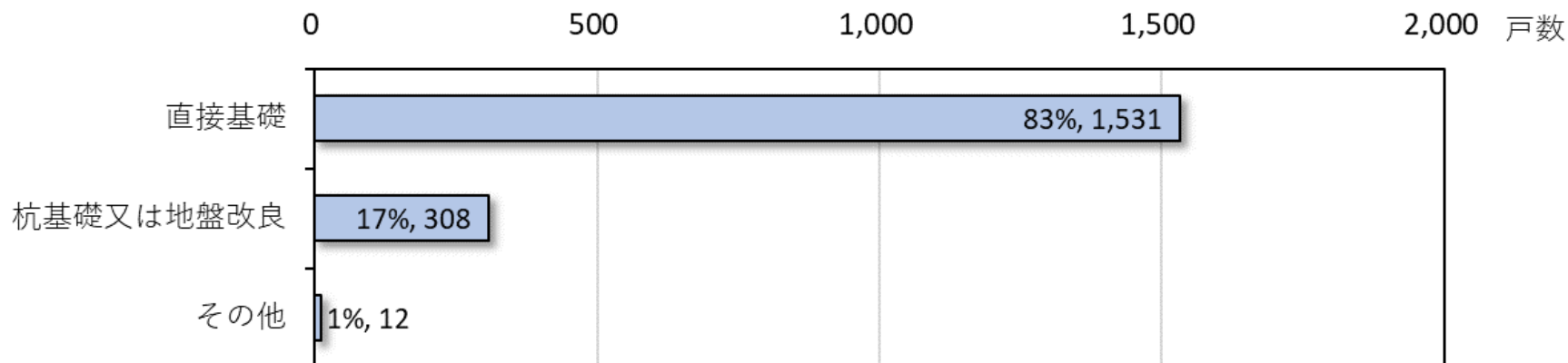
5-4. 基礎の種類

表 46 基礎の種類(単位:戸数、%)

基礎の種類・項目	戸数	割合
直接基礎	1,531	83%
うち布基礎	152	8%
うちベタ基礎	1,379	75%
うち独立基礎	0	0%
杭基礎又は地盤改良	308	17%
その他	12	1%
合計	1,851	100%

有効回答数:93

図 41 基礎の種類



6. 木造非住宅分野等(アパート等も含む)について

6-1. 年間木造非住宅分野等の供給数

表 47 年間木造非住宅分野等の供給数(単位:件、平米)

項目	非住宅供給数		うち補助金対象件数	
	件数	合計面積	件数	合計面積
アパート・集合住宅	6	1,998	0	—
事務所	4	1,270	0	—
店舗	3	362	0	—
工場・作業所・倉庫	5	617	0	—
学校校舎	0	—	—	—
幼稚園・保育所	0	—	—	—
寄宿舍	0	—	—	—
その他	10	12,661	0	—
合計	28	16,908	0	—

有効回答数:28

【その他の内訳で記載があったもの】

物置、老人ホーム、グループホーム、自治会館、一戸建て賃貸、学童、就労支援施設

6-2. 2020年度と比較して木造非住宅分野等の物件は増えましたか？

表 48 木造非住宅分野等の物件・前年比(単位:社、%)

	件数	割合
増えた	15	18.1%
減った	8	9.6%
変わらない	60	72.3%
合計	83	100.0%

有効回答数:83

図42 供給する標準的な木造住宅の木材使用状況について

■ 輸入集成材等 ■ 輸入製材・合板 ■ 国産集成材等 ■ 国産材製材・合板 □ 不明

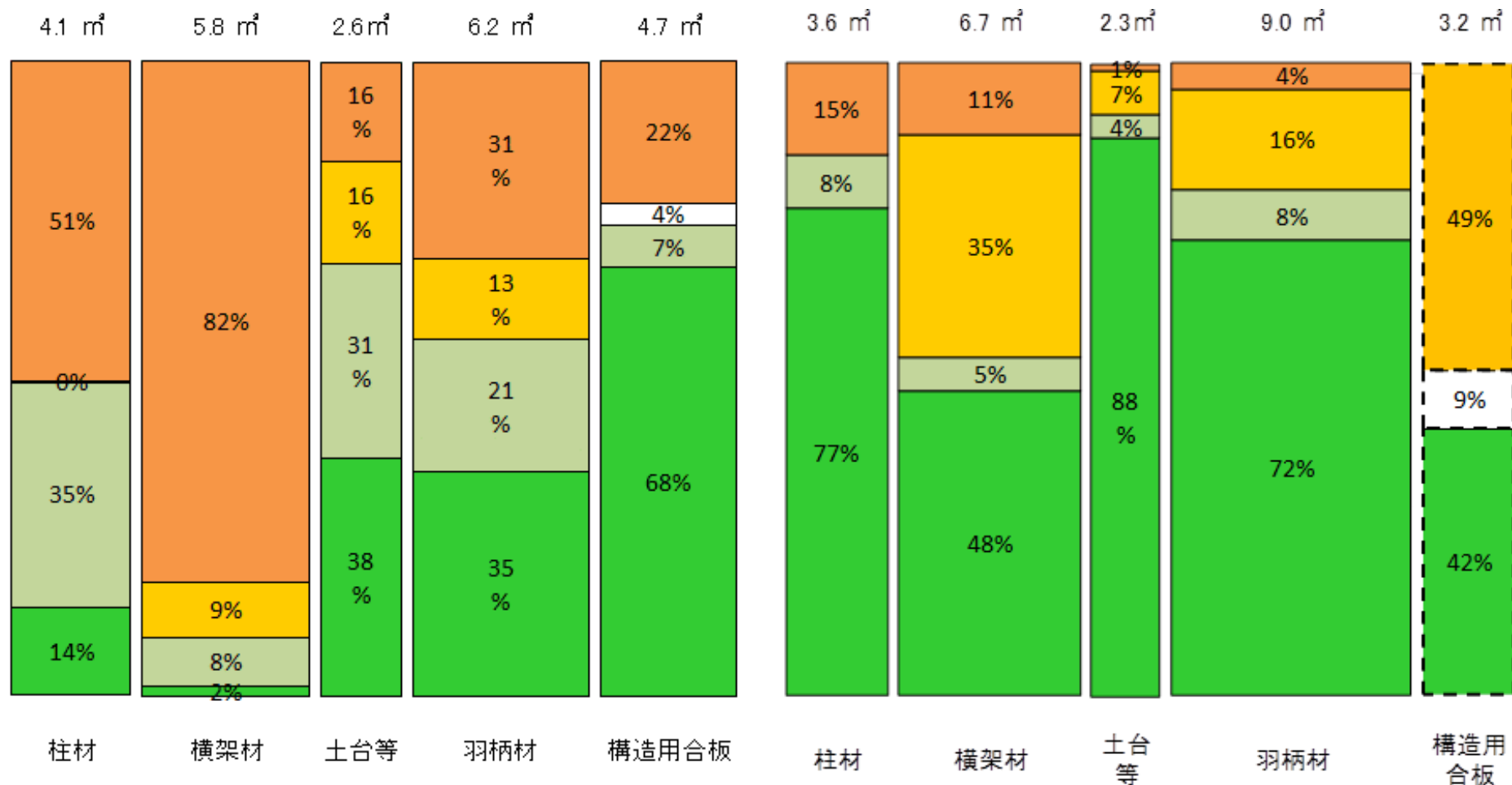
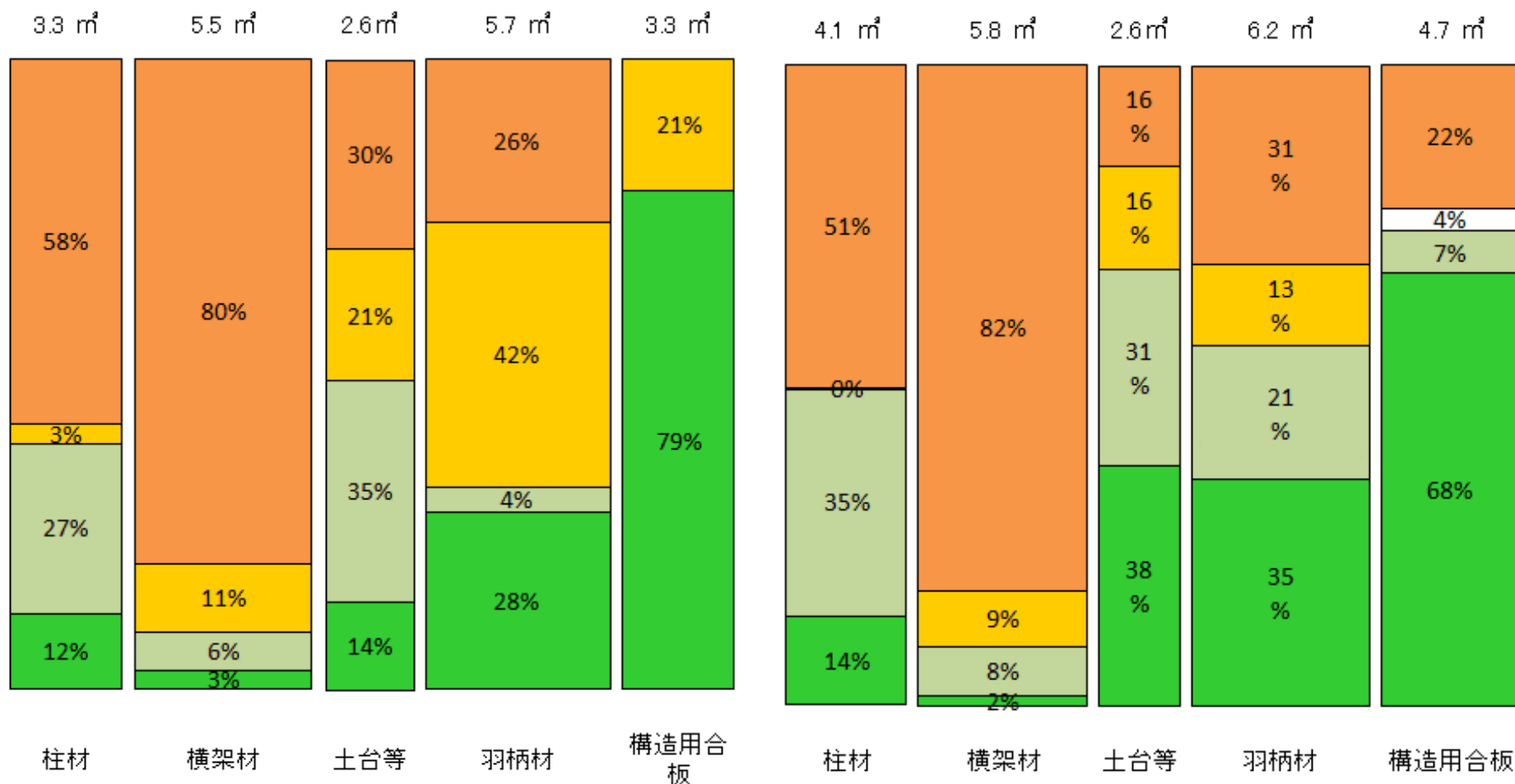


図43 一般社団法人 日本木造住宅産業協会調査(以前との比較)

■ 輸入集成材等 ■ 輸入製材・合板 ■ 国産集成材等 ■ 国産材製材・合板

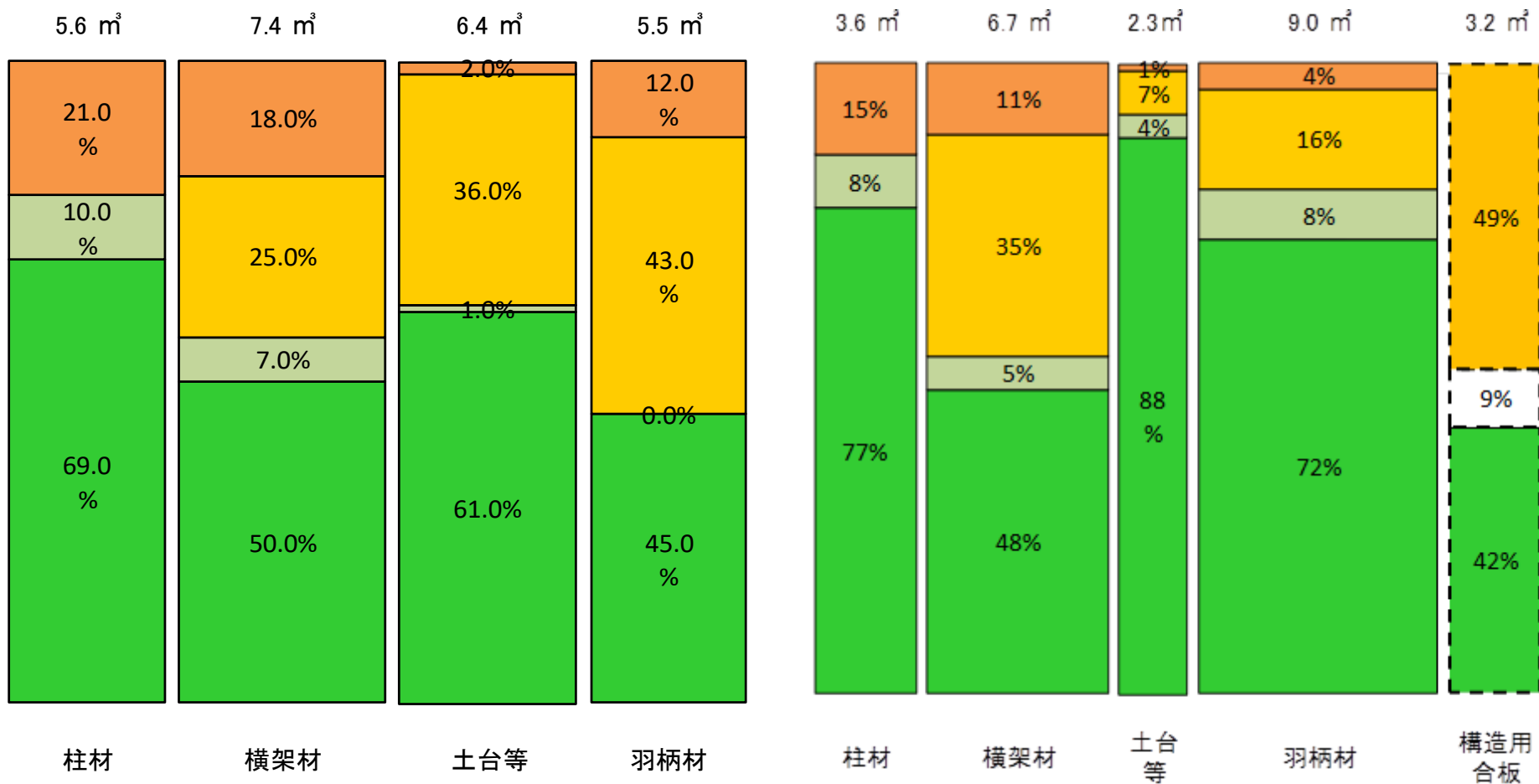


木造軸組構法における木材使用割合(2013)
一般社団法人 日本木造住宅産業協会

木造軸組工法における木材使用割合(2020)
一般社団法人 日本木造住宅産業協会

図44 地域工務店における木材利用実態調査(以前との比較)

■ 輸入集成材等 ■ 輸入製材・合板 ■ 国産集成材等 ■ 国産材製材・合板



「木造住宅における木材の使用状況に関する調査」
2017・2018年調査

「木造住宅における木材の使用状況に関する調査」
2021・2022年調査

謝辞

- 三重大学 生物資源学部教授 中井 毅尚 様
- 三重大学 生物資源研究科博士課程 齋藤 勇人 様
- 三重大学 生物資源研究 修士課程 小嶋 はな 様
- (株)山田事務所 代表取締役 山田 賢 様

ご回答いただきました全ての工務店の皆様

協議会メンバー皆様

ありがとうございました。

ご清聴ありがとうございました。

田辺工業株式会社 代表取締役社長 田邊 喜範